
「第3次香取市地域福祉計画」

策定に向けた

アンケート調査報告書

令和5年3月

香取市

目次

はじめに	1
1 調査の概要	1
2 グラフの見方.....	2
調査1 一般市民アンケート調査.....	1
問1 ご自身について	2
問2 地域での生活について	7
問3 地域活動やボランティア活動について	26
問4 地域での交流について	34
問5 福祉について	42
問6 地域福祉のあり方について.....	51
問7 災害対策について	55
問8 その他	59
調査2 関係団体アンケート調査.....	63
問1 貴団体のことについて	64
問2 貴団体の活動について	67
問3 活動を通して見える地域の状況について	73
問4 今後の活動について.....	77

はじめに

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、香取市における地域福祉の充実に向けて、市民の方々および関係団体のご意見を収集・分析し、「第3次香取市地域福祉計画」の策定に反映させることを目的として実施されました。

(2) 調査の内容

本調査では、一般市民の方を対象とするアンケート調査とともに、地域福祉に関係する団体を対象とするアンケート調査の2種類の調査を通じて情報収集を行いました。

調査1 一般市民アンケート調査

調査2 関係団体アンケート調査

各調査の対象者、標本の抽出方法、調査票の配布数等を下表に整理します。

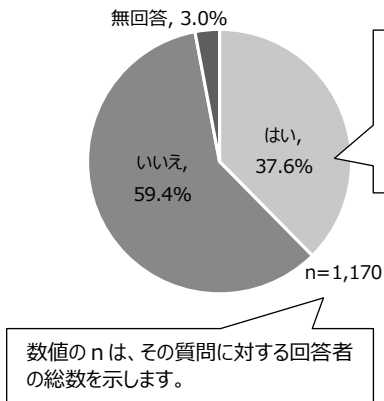
調査名	調査1 一般市民アンケート調査	調査2 関係団体アンケート調査
対象者	18歳以上の市民	ボランティア連絡協議会登録団体、福祉関係団体等
標本の抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出	全数
アンケート発送数	3,500	170
うち返送数 ¹	23	0
返送数を除いた送付数 ^①	3,477	170
調査方法	郵送および Web	郵送および Web
調査の実施時期	2022年11月-12月	2022年11月-12月
回収数	1,884	110
有効回答数 ^{2②}	1,880	110
有効回答率 ^{②/①}	54.0%	64.7%

¹ 宛先不明で発送元（香取市役所）に返送された調査票の数

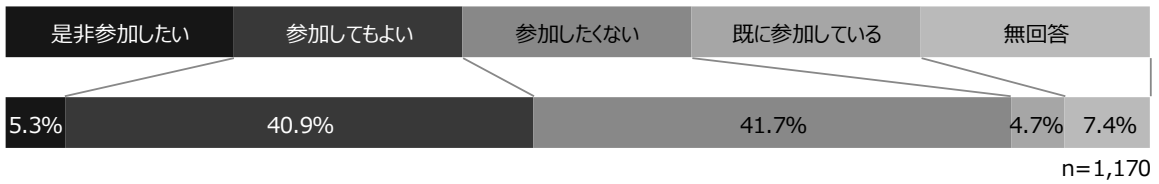
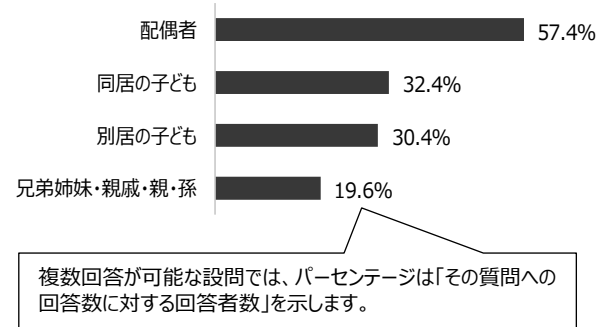
² 白紙回答などの無効回答を除いた回答数

2 グラフの見方

グラフの記載に関する留意事項を以下に整理します。



パーセンテージは四捨五入した値を表示していますので、各項目の合計値が100%とならない場合があります。



このスタイルのグラフ（帯グラフ）は、凡例が上、下に回答のパーセンテージを示します。

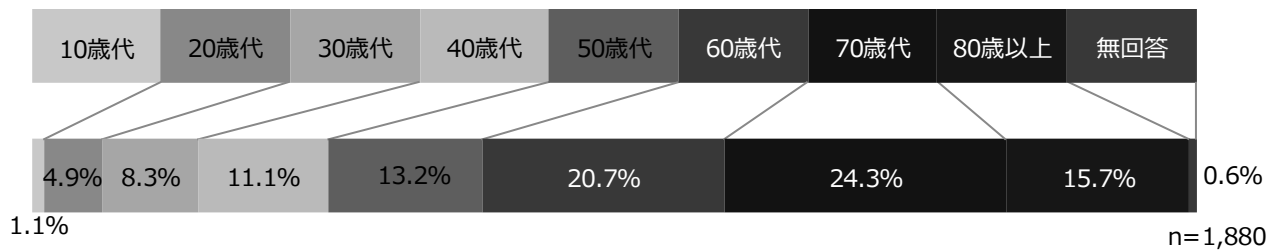
調査1 一般市民アンケート調査

問 1 ご自身について

回答方式	(1) 性別
<p>Web, 12.5%</p> <p>郵送, 87.5%</p> <p>n=1,880</p>	<p>その他, 0.1%</p> <p>無回答, 0.9%</p> <p>女性, 55.7%</p> <p>男性, 43.2%</p> <p>n=1,880</p>
<p>今回のアンケートは郵送と Web の併用で行いました。郵送による回答は全体の 87.5%、Web による回答は 12.5%でした。</p>	<p>回答者の性別は男性が 43.2%、女性が 55.7%でした。</p>

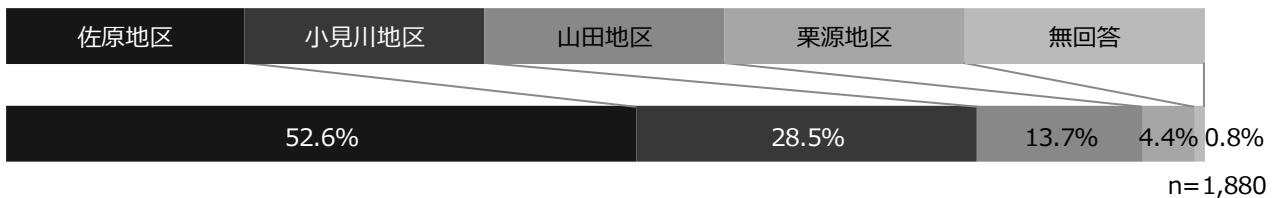
(2) あなたの年代はどれですか(単一回答)

「70 歳代」という回答が最も多く 24.3%、次いで、「60 歳代 (20.7%)」、「80 歳以上 (15.7%)」、「50 歳代 (13.2%)」、「40 歳代 (11.1%)」の順となっています。



(3) あなたが住んでいる地区は次のどれですか(単一回答)

「佐原地区」という回答が最も多く 52.6%、次いで、「小見川地区 (28.5%)」、「山田地区 (13.7%)」、「栗源地区 (4.4%)」の順となっています。



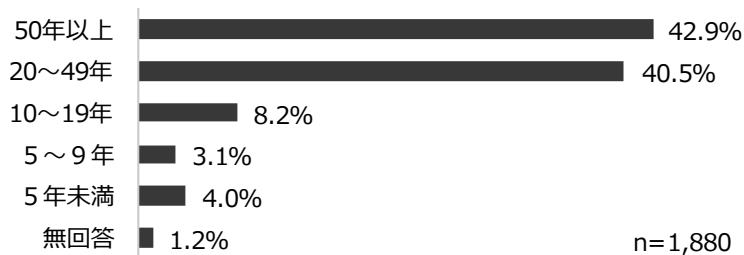
《年代別》

回答者の居住地区を年代別にみると、10歳代では「小見川地区」に住む人の割合が高く、そのほかの年代では「佐原地区」が高い割合を占めています。

単位 (%)	全体 (人)	佐原地区	小見川地区	山田地区	栗源地区	無回答	
全体	1,880	52.6	28.5	13.7	4.4	0.8	
年代別	10歳代	20	30.0	45.0	15.0	10.0	0.0
	20歳代	93	51.6	30.1	16.1	2.2	0.0
	30歳代	156	51.3	29.5	14.7	3.8	0.6
	40歳代	209	51.7	29.2	13.9	4.3	1.0
	50歳代	249	55.8	28.9	10.8	3.6	0.8
	60歳代	390	52.6	26.9	14.1	5.9	0.5
	70歳代	456	49.6	30.9	15.4	3.9	0.2
	80歳以上	296	58.8	24.3	11.8	4.4	0.7

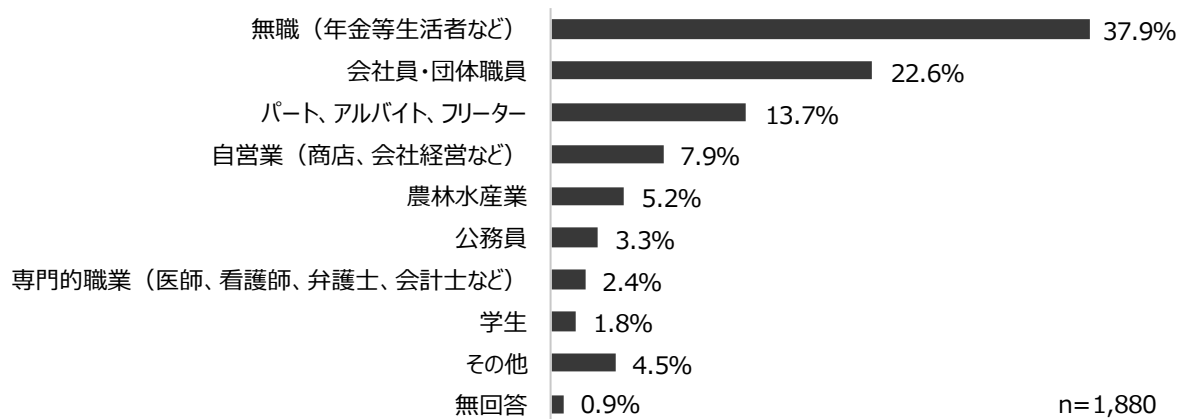
(4) 前問 (3) で回答された地区には何年住んでいますか(単一回答)

「50年以上」という回答が最も多く42.9%、次いで、「20～49年(40.5%)」、「10～19年(8.2%)」の順で回答が多くなっています。



(5) あなたの主な職業は何ですか(単一回答)

「無職（年金等生活者など）」という回答が最も多く37.9%、次いで、「会社員・団体職員（22.6%）」、「パート、アルバイト、フリーター（13.7%）」、「自営業（商店、会社経営など）（7.9%）」の順で回答が多くなっています。



《年代別》

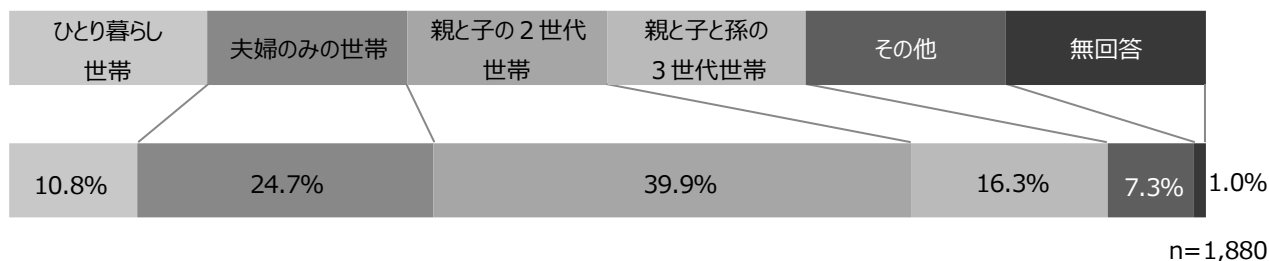
回答者の職業を年代別にみると、10歳代は「学生」、20歳代～50歳代は「会社員・団体職員」、60歳以上で「無職（年金等生活者など）」の割合が高くなっています。また、70歳以上の有職者の職業としては、「農林水産業」、「自営業（商店、会社経営など）」などの割合が高くなっています。

単位 (%)		全体 (人)	会社員・団体職員	農林水産業	自営業 (商店、会社経営など)	士、師、専門的職業 (弁護士、会計士など)	公務員	無職 (年金等生活者など)	学生
全体		1,880	22.6	5.2	7.9	2.4	3.3	37.9	1.8
年代別	10歳代	20	10.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	85.0
	20歳代	93	45.2	1.1	0.0	3.2	7.5	4.3	16.1
	30歳代	156	47.4	0.0	5.8	8.3	5.1	4.5	0.6
	40歳代	209	51.2	1.0	5.7	4.8	6.7	4.8	0.0
	50歳代	249	43.4	1.6	13.7	4.0	8.4	7.2	0.0
	60歳代	390	18.5	5.6	9.2	1.8	2.6	34.1	0.0
	70歳代	456	3.3	10.5	8.3	0.2	0.2	64.9	0.0
	80歳以上	296	1.4	6.4	6.4	0.3	0.3	81.1	0.0

単位 (%)		パート、フリー、アルバイト	その他	無回答
全体		13.7	4.5	0.9
年代別	10歳代	0.0	0.0	0.0
	20歳代	16.1	6.5	0.0
	30歳代	20.5	7.7	0.0
	40歳代	20.6	4.8	0.5
	50歳代	16.5	4.8	0.4
	60歳代	22.1	5.4	0.8
	70歳代	8.3	3.5	0.7
	80歳以上	0.7	2.0	1.4

(6) あなたの家族構成はどのようになっていますか(単一回答)

「親と子の2世代世帯」という回答が最も多く39.9%、次いで、「夫婦のみの世帯（24.7%）」、「親と子と孫の3世代世帯（16.3%）」、「ひとり暮らし世帯（10.8%）」の順で回答が多くなっています。



《年代別》

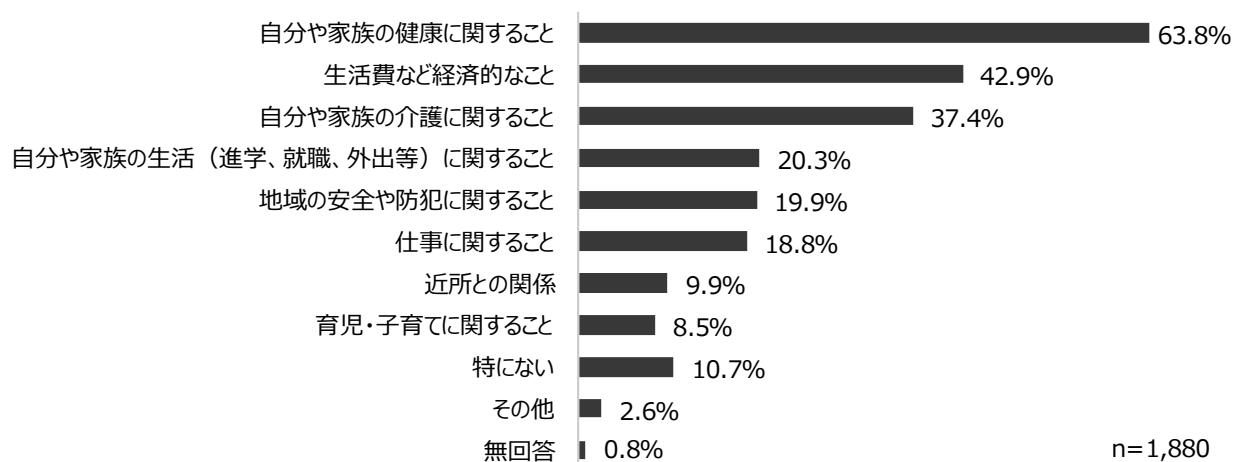
回答者の家族構成を年代別にみると、10歳代～50歳代では「親と子の2世代世帯」の割合が高く、60歳代では、「親と子の2世代世帯」と「夫婦のみの世帯」の割合が同程度、70歳代は「夫婦のみの世帯」の割合が高くなっています。また、80歳以上では「親と子の2世代世帯」が最も高い割合を占める一方で、「ひとり暮らし世帯」の割合は他の年代と比べて最も高くなっています。

単位 (%)	全体 (人)	ひとり暮らし世帯	夫婦のみの世帯	親と子の2世代世帯	親と子と孫の3世代世帯	その他	無回答	
全体	1,880	10.8	24.7	39.9	16.3	7.3	1.0	
年代別	10歳代	20	0.0	5.0	70.0	20.0	5.0	0.0
	20歳代	93	4.3	9.7	51.6	25.8	8.6	0.0
	30歳代	156	3.8	9.6	57.1	20.5	8.3	0.6
	40歳代	209	4.3	6.7	60.3	23.0	5.7	0.0
	50歳代	249	11.2	15.3	50.6	14.9	7.6	0.4
	60歳代	390	9.2	35.9	36.2	12.1	6.4	0.3
	70歳代	456	12.5	39.7	27.0	14.0	6.6	0.2
	80歳以上	296	20.9	22.3	27.4	16.9	9.1	3.4

問 2 地域での生活について

(7) あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか(複数回答)

「自分や家族の健康に関すること」という回答が最も多く 63.8%、次いで、「生活費など経済的なこと (42.9%)」、「自分や家族の介護に関すること (37.4%)」、「自分や家族の生活 (進学、就職、外出等) に関すること (20.3%)」、「地域の安全や防犯に関すること (19.9%)」、「仕事に関すること (18.8%)」の順で回答が多くなっています。



《年代別》

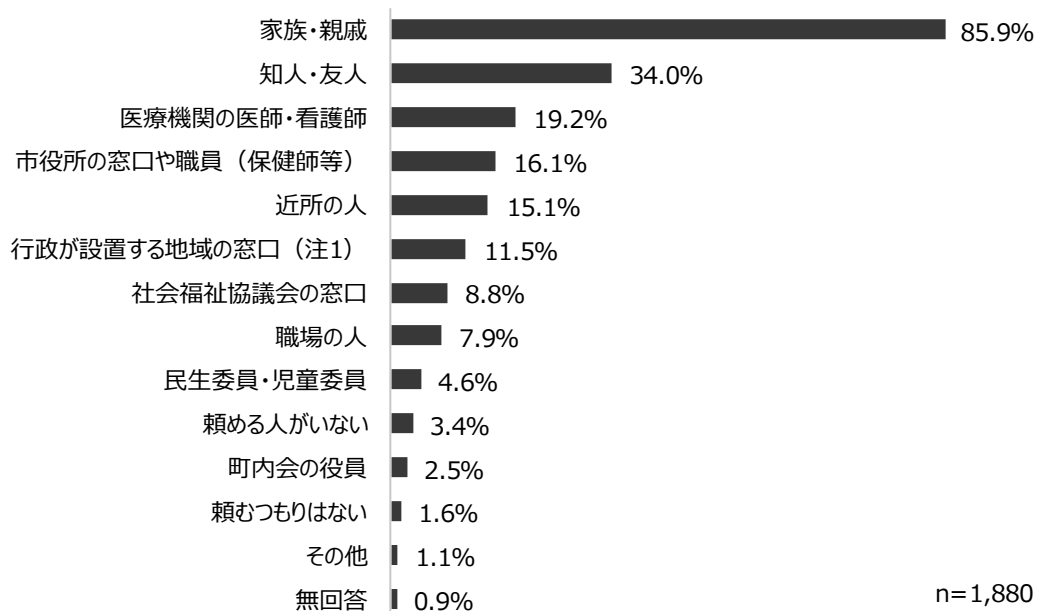
毎日の暮らしの中の悩みや不安について、回答を年代別にみると、10歳代では「自分や家族の生活（進学、就職、外出等）に関すること」の割合が高く、20歳代～40歳代では「生活費など経済的なこと」、50歳以上では「自分や家族の健康に関すること」の割合が高くなっています。また、「自分や家族の介護に関すること」については、他の年代に比べて50歳代で特に高くなっています。

単位 (%)	全体 (人)	自分や家族の健康に関すること	自分や家族の介護に関すること	生活費など経済的なこと	仕事に関すること	（進学、就職、外出等）に自分や家族の生活に関すること	育児・子育てに関すること	近所との関係	
全体	1,880	63.8	37.4	42.9	18.8	20.3	8.5	9.9	
年代別	10歳代	20	30.0	5.0	30.0	15.0	45.0	5.0	0.0
	20歳代	93	48.4	25.8	52.7	35.5	26.9	22.6	7.5
	30歳代	156	54.5	27.6	63.5	35.3	30.1	35.3	12.2
	40歳代	209	56.9	35.4	58.4	36.4	48.3	25.8	8.6
	50歳代	249	65.1	51.0	53.0	32.9	26.5	4.8	9.6
	60歳代	390	69.7	39.5	43.3	17.2	14.1	2.8	10.5
	70歳代	456	68.4	33.8	34.0	6.8	9.4	0.9	9.0
	80歳以上	296	64.9	42.2	24.3	2.0	11.5	0.7	12.2

単位 (%)	地域の安全や防犯に関すること	特にない	その他	無回答	
全体	19.9	10.7	2.6	0.8	
年代別	10歳代	5.0	30.0	5.0	5.0
	20歳代	19.4	14.0	2.2	0.0
	30歳代	21.8	9.0	1.3	0.6
	40歳代	22.0	7.2	2.9	0.5
	50歳代	20.9	6.0	2.8	0.0
	60歳代	18.5	9.5	2.8	0.8
	70歳代	19.5	13.4	2.2	0.2
	80歳以上	20.9	13.5	2.4	1.7

(8) あなたは、暮らしの中で相談や助けが必要なとき誰に頼みたいと思いますか(複数回答)

「家族・親戚」という回答が最も多く85.9%、次いで、「知人・友人（34.0%）」、「医療機関の医師・看護師（19.2%）」、「市役所の窓口や職員（保健師等）（16.1%）」、「近所の人（15.1%）」、「地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターなど行政が設置する地域の窓口（11.5%）」の順で回答が多くなっています。



注1 地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターなど行政が設置する地域の窓口

《年代別》

相談や助けが必要なとき誰に頼みたいと思うかについて、回答を年代別にみると、いずれの年代も「家族・親戚」が最も高い割合を占めています。「知人・友人」については、全体でみると10歳代～50歳代で高く、年代が上がるにつれて割合が少なくなっています。また、20歳代～50歳代では「職場の人」の割合も高くなっています。60歳以上の年代では、「家族・親戚」、「知人・友人」に次いで、「医療機関の医師・看護師」、「近所の人」の割合が高くなっています。また、「頼める人がいない」と回答した人を年代別にみると、特に30歳代、40歳代、50歳代で高くなっています。

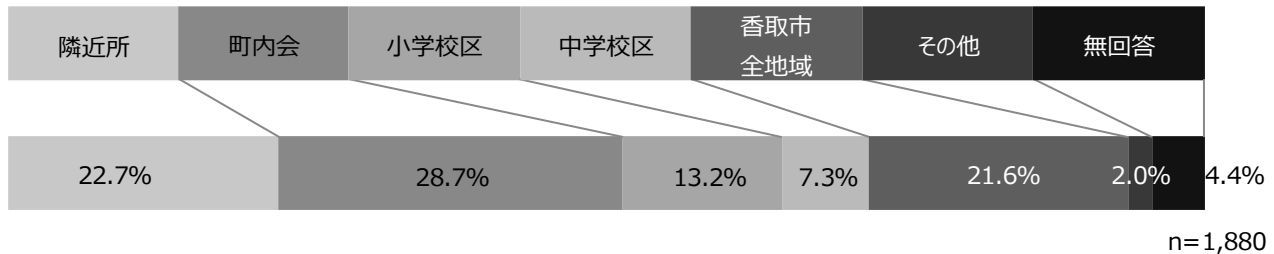
単位 (%)		全体 (人)	家族・親戚	知人・友人	近所の人	職場の人	町内会の役員	民生委員・児童委員	医療機関の医師・看護師
全体		1,880	85.9	34.0	15.1	7.9	2.5	4.6	19.2
年代別	10歳代	20	95.0	60.0	5.0	5.0	0.0	0.0	10.0
	20歳代	93	89.2	61.3	3.2	20.4	0.0	2.2	8.6
	30歳代	156	83.3	51.3	6.4	21.2	1.9	1.9	13.5
	40歳代	209	90.0	45.0	7.7	16.3	0.0	1.4	12.0
	50歳代	249	82.7	37.8	11.2	14.5	1.6	2.4	18.9
	60歳代	390	85.4	34.4	18.2	4.6	2.1	3.8	19.7
	70歳代	456	83.8	25.2	19.3	1.3	3.7	6.6	21.9
	80歳以上	296	89.9	17.9	21.6	0.3	4.7	9.5	25.7

単位 (%)		等職市 員役所 (保健師 の窓 口や	の社会 窓福 口祉 協 議 会	1)地 域政 の設 置 (す 注 る	い頼 める 人 が い な	い頼 む つ も り は な	そ の 他	無 回 答
全体		16.1	8.8	11.5	3.4	1.6	1.1	0.9
年代別	10歳代	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0
	20歳代	11.8	3.2	7.5	1.1	0.0	3.2	0.0
	30歳代	14.1	5.1	11.5	5.8	4.5	1.9	0.0
	40歳代	15.8	6.7	10.0	5.3	0.0	0.5	0.5
	50歳代	18.5	9.6	10.8	4.8	2.8	0.0	0.0
	60歳代	16.9	10.0	12.6	3.3	1.5	0.8	0.8
	70歳代	17.5	9.4	12.5	3.3	1.5	1.1	0.7
	80歳以上	13.5	11.1	12.5	0.7	1.0	1.4	2.0

注 1 地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターなど行政が設置する地域の窓口

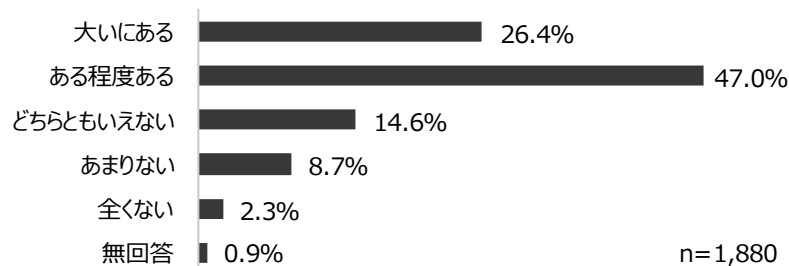
(9) あなたが考える「地域」の範囲をお答えください(単一回答)

「町内会」という回答が最も多く28.7%、次いで、「隣近所（22.7%）」、「香取市全地域（21.6%）」、「小学校区（13.2%）」、「中学校区（7.3%）」の順で回答が多くなっています。



(10) あなたは、今住んでいる地域に愛着がありますか(単一回答)

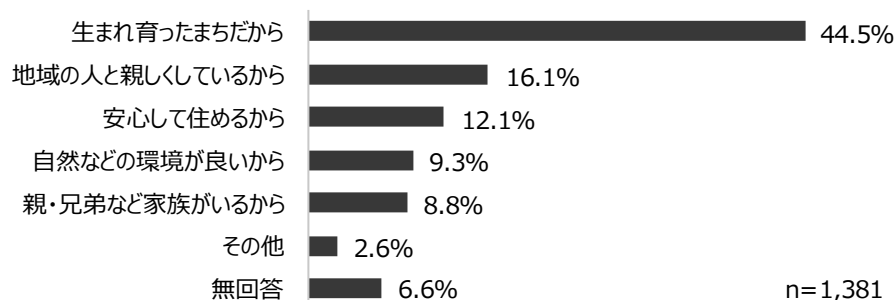
「ある程度ある」という回答が最も多く47.0%、次いで、「大いにある（26.4%）」、「どちらともいえない（14.6%）」、「あまりない（8.7%）」、「全くない（2.3%）」の順で回答が多くなっています。



問(10)において「1.大いにある」または「2.ある程度ある」の方のみに対する質問

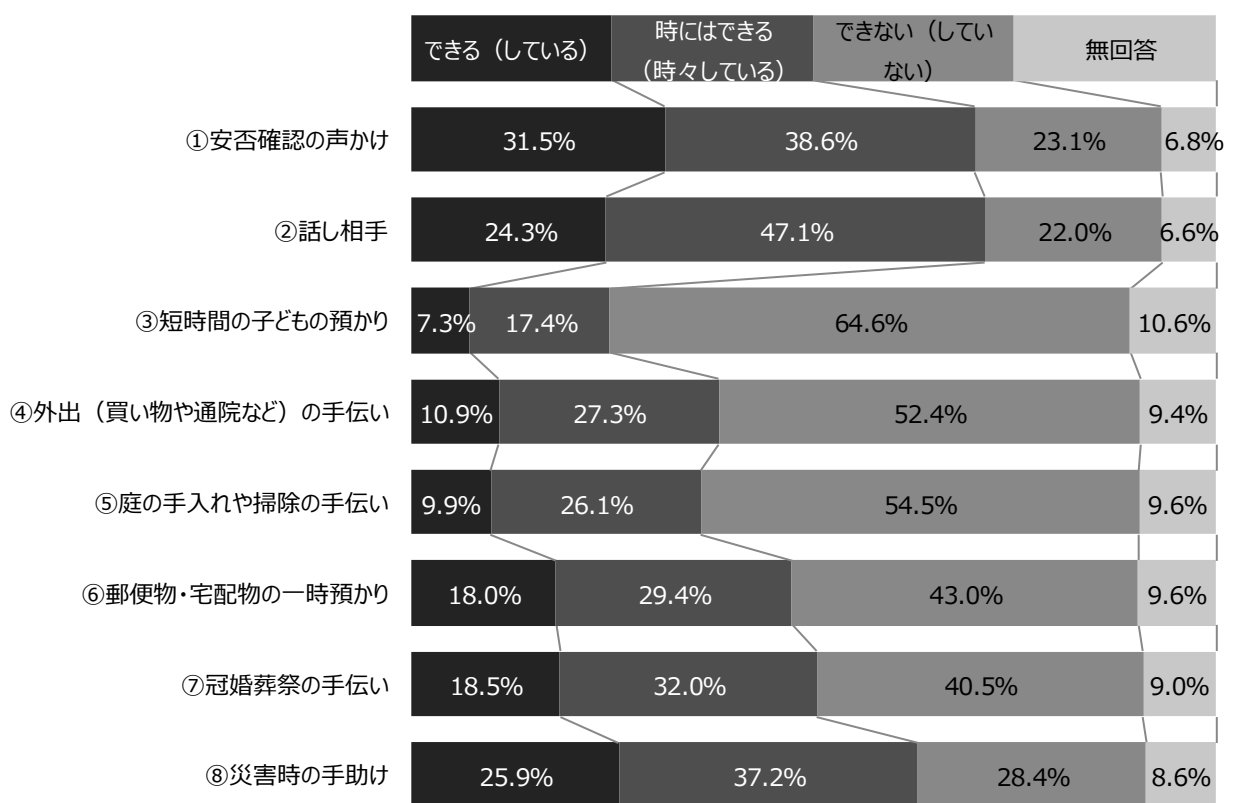
(11) 愛着があると感じるのはなぜですか(単一回答)

「生まれ育ったまちだから」という回答が最も多く44.5%、次いで、「地域の人と親しくしているから（16.1%）」、「安心して住めるから（12.1%）」、「自然などの環境が良いから（9.3%）」、「親・兄弟など家族がいるから（8.8%）」の順で回答が多くなっています。



(12) あなたは、近所の人から頼まれた場合、どのようなことができると思いますか（もしくは既にしていますか）（○はそれぞれ1つ）

①安否確認の声かけ、②話し相手、⑦冠婚葬祭の手伝い、⑧災害時の手助けについては、「時にはできる（時々している）」、「できる（している）」という回答が過半数以上を占めています。一方、③短時間の子どもの預かり、④外出（買い物や通院など）の手伝い、⑤庭の手入れや掃除の手伝いについては、「できない（していない）」という回答が過半数以上を占めています。



n=1,880

《年代別》

①安否確認の声かけについては、全体として「時にはできる（時々している）」という回答が最も多く、年代別にみると特に40歳代、50歳代の回答者の割合が高くなっています。

①安否確認の声かけ

単位 (%)		全体 (人)	できる (している)	（時にはできる）	できない (して)	無回答
全体		1,880	31.5	38.6	23.1	6.8
年代別	10歳代	20	35.0	35.0	25.0	5.0
	20歳代	93	32.3	38.7	28.0	1.1
	30歳代	156	32.1	38.5	28.8	0.6
	40歳代	209	31.1	48.3	20.6	0.0
	50歳代	249	32.5	43.4	22.1	2.0
	60歳代	390	35.4	39.5	22.3	2.8
	70歳代	456	33.8	37.9	19.3	9.0
	80歳以上	296	22.6	28.7	27.7	20.9

②話し相手については、すべての年代で「時にはできる（時々している）」と回答した人の割合が高く、中でも特に50歳代の回答者の割合が高くなっています。

②話し相手

単位 (%)		全体 (人)	できる (している)	（時にはできる）	できない (して)	無回答
全体		1,880	24.3	47.1	22.0	6.6
年代別	10歳代	20	25.0	50.0	20.0	5.0
	20歳代	93	25.8	50.5	22.6	1.1
	30歳代	156	23.1	45.5	30.8	0.6
	40歳代	209	18.7	50.7	30.1	0.5
	50歳代	249	15.3	55.4	25.3	4.0
	60歳代	390	24.9	49.5	23.1	2.6
	70歳代	456	28.3	46.9	15.6	9.2
	80歳以上	296	29.4	34.8	17.6	18.2

③短時間の子どもの預かりについては、全体として「できない（していない）」という回答が最も多く、すべての年代で過半数以上の割合を占めています。「できる（している）」という回答は最も少なかったものの、このうち20歳代と30歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。また、「時にはできる（時々している）」という回答については、特に30歳代と40歳代が高い割合を占めています。

③短時間の子どもの預かり

単位 (%)	全体 (人)	できる (している)	時々できる (時々している)	できない (していない)	無回答	
全体	1,880	7.3	17.4	64.6	10.6	
年代別	10歳代	20	10.0	20.0	60.0	10.0
	20歳代	93	10.8	19.4	68.8	1.1
	30歳代	156	11.5	28.8	57.7	1.9
	40歳代	209	10.0	29.7	59.8	0.5
	50歳代	249	6.0	16.9	71.1	6.0
	60歳代	390	7.9	20.0	67.7	4.4
	70歳代	456	6.4	13.8	65.4	14.5
	80歳以上	296	4.1	5.1	60.8	30.1

④外出（買い物や通院など）の手伝いについては、すべての年代で「できない（していない）」と回答した人の割合が高くなっています。「できる（している）」の回答は最も少なかったものの、このうち70歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。また、「時にはできる（時々している）」という回答については、特に40歳代が高い割合を占めています。

④外出（買い物や通院など）の手伝い

単位 (%)	全体 (人)	できる (している)	時々できる (時々している)	できない (していない)	無回答	
全体	1,880	10.9	27.3	52.4	9.4	
年代別	10歳代	20	20.0	35.0	40.0	5.0
	20歳代	93	9.7	34.4	54.8	1.1
	30歳代	156	10.9	33.3	55.1	0.6
	40歳代	209	7.7	36.4	55.0	1.0
	50歳代	249	10.4	34.1	50.6	4.8
	60歳代	390	11.0	31.5	53.6	3.8
	70歳代	456	14.3	25.0	48.7	12.1
	80歳以上	296	8.4	7.4	55.4	28.7

⑤庭の手入れや掃除の手伝いについては、すべての年代で「できない（していない）」と回答した人の割合が高くなっています。「できる（している）」という回答は最も少なかったものの、このうち70歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。また、「時にはできる（時々している）」という回答については、特に30歳代が高い割合を占めています。

⑤庭の手入れや掃除の手伝い

単位 (%)		全体 (人)	できる (している)	時々できる (時々している)	できない (していない)	無回答
全体		1,880	9.9	26.1	54.5	9.6
年代別	10歳代	20	20.0	30.0	45.0	5.0
	20歳代	93	8.6	34.4	55.9	1.1
	30歳代	156	7.1	35.9	55.8	1.3
	40歳代	209	5.7	33.5	60.3	0.5
	50歳代	249	8.4	28.1	59.0	4.4
	60歳代	390	8.7	30.0	56.7	4.6
	70歳代	456	14.7	21.7	51.1	12.5
	80歳以上	296	9.5	13.5	49.0	28.0

⑥郵便物・宅配物の一時預かりについては、全体として「できない（していない）」という回答が最も高い割合を占めていますが、20歳代と40歳代では「時にはできる（時々している）」と回答した人の割合も同程度に高くなっています。また、「できる（している）」という回答については、特に70歳代が高い割合を占めています。

⑥郵便物・宅配物の一時預かり

単位 (%)		全体 (人)	できる (している)	時々できる (時々している)	できない (していない)	無回答
全体		1,880	18.0	29.4	43.0	9.6
年代別	10歳代	20	15.0	25.0	55.0	5.0
	20歳代	93	15.1	41.9	41.9	1.1
	30歳代	156	16.7	37.2	44.9	1.3
	40歳代	209	17.2	41.6	40.7	0.5
	50歳代	249	18.9	33.7	43.4	4.0
	60歳代	390	16.2	32.3	46.2	5.4
	70歳代	456	22.8	24.1	40.8	12.3
	80歳以上	296	15.2	14.2	42.9	27.7

⑦冠婚葬祭の手伝いについては、全体として「できない（していない）」という回答が最も高い割合を占めていますが、40歳代～60歳代では「時にはできる（時々している）」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、「できる（している）」という回答については、60歳代、70歳代が高い割合を占めています。

⑦冠婚葬祭の手伝い

単位 (%)		全体 (人)	できる (している)	（時にはできる） （時々している）	できない (していない)	無回答
全体		1,880	18.5	32.0	40.5	9.0
年代別	10歳代	20	10.0	25.0	60.0	5.0
	20歳代	93	9.7	38.7	50.5	1.1
	30歳代	156	12.8	37.8	47.4	1.9
	40歳代	209	12.9	45.0	42.1	0.0
	50歳代	249	21.7	40.2	34.5	3.6
	60歳代	390	24.6	40.3	31.5	3.6
	70歳代	456	24.1	26.5	38.4	11.0
	80歳以上	296	9.5	10.1	51.4	29.1

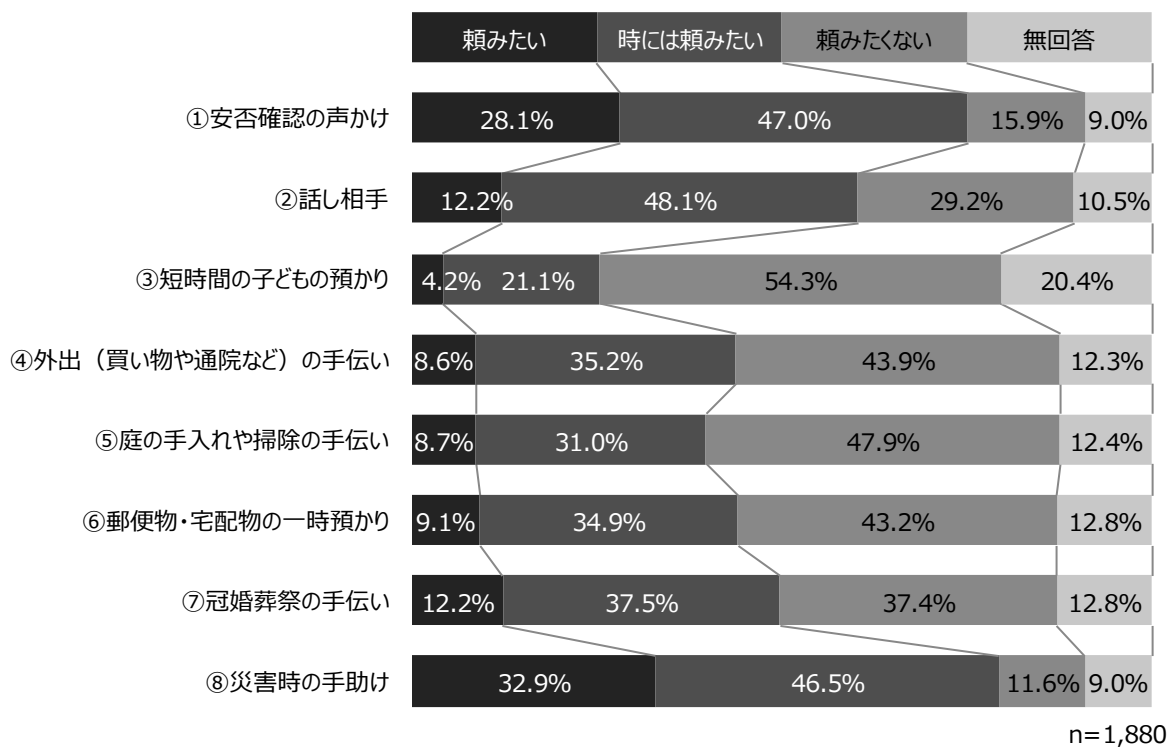
⑧災害時の手助けについて、10歳代～60歳代では「時にはできる（時々している）」と回答した人の割合が最も高くなっています。また、「できる（している）」という回答については、特に20歳代が高い割合を占めています。

⑧災害時の手助け

単位 (%)		全体 (人)	できる (している)	（時にはできる） （時々している）	できない (していない)	無回答
全体		1,880	25.9	37.2	28.4	8.6
年代別	10歳代	20	30.0	50.0	15.0	5.0
	20歳代	93	39.8	47.3	11.8	1.1
	30歳代	156	30.1	44.9	23.1	1.9
	40歳代	209	29.7	52.6	17.7	0.0
	50歳代	249	26.1	50.2	20.9	2.8
	60歳代	390	30.3	41.8	24.9	3.1
	70歳代	456	26.3	30.3	32.7	10.7
	80歳以上	296	10.5	12.8	48.6	28.0

(13) あなたは、手助けが必要になった時、近所の人にどのようなことを頼みたいと思いますか(○はそれぞれ1つ)

①安否確認の声かけ、②話し相手、⑧災害時の手助けについては、「頼みたい」、「時には頼みたい」という回答が過半数を占めています。一方、③短時間の子どもの預かり、④外出（買い物や通院など）の手伝い、⑤庭の手入れや掃除の手伝いに関しては、「頼みたくない」という回答が「頼みたい」、「時には頼みたい」の合計を上回っています。



《年代別》

①安否確認の声かけについては、すべての年代で「時には頼みたい」と回答した人の割合が高く、中でも特に 50 歳代の回答者の割合が高くなっています。「頼みたい」という回答については、特に 10 歳代と 60 歳以上が高い割合を占めています。

①安否確認の声かけ

単位 (%)		全体 (人)	頼みたい	時には頼みたい	頼みたくない	無回答
全体		1,880	28.1	47.0	15.9	9.0
年代別	10歳代	20	35.0	50.0	10.0	5.0
	20歳代	93	22.6	48.4	25.8	3.2
	30歳代	156	28.8	42.9	26.3	1.9
	40歳代	209	24.4	51.2	23.0	1.4
	50歳代	249	21.3	56.6	19.3	2.8
	60歳代	390	30.8	47.7	14.9	6.7
	70歳代	456	30.3	46.7	10.5	12.5
	80歳以上	296	30.7	37.8	9.5	22.0

②話し相手については、全体として「時には頼みたい」という回答が最も多く、中でも特に 50 歳代の回答者の割合が高くなっています。「頼みたい」という回答は最も少なかったものの、このうち 80 歳以上は他の年代と比べて高い割合を占めています。

②話し相手

単位 (%)		全体 (人)	頼みたい	時には頼みたい	頼みたくない	無回答
全体		1,880	12.2	48.1	29.2	10.5
年代別	10歳代	20	5.0	55.0	35.0	5.0
	20歳代	93	8.6	37.6	50.5	3.2
	30歳代	156	10.3	48.7	38.5	2.6
	40歳代	209	6.2	45.0	46.9	1.9
	50歳代	249	4.4	55.8	35.3	4.4
	60歳代	390	13.3	51.5	29.2	5.9
	70歳代	456	14.5	52.0	19.5	14.0
	80歳以上	296	20.9	36.5	15.2	27.4

③短時間の子どもの預かりについては、すべての年代で「頼みたくない」と回答した人の割合が高くなっています。「頼みたい」という回答は最も少なかったものの、このうち30歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。また、「時には頼みたい」という回答については、特に20歳代、60歳代が高い割合を占めています。

③短時間の子どもの預かり

単位 (%)		全体 (人)	頼みたい	時には頼みたい	頼みたくない	無回答
全体		1,880	4.2	21.1	54.3	20.4
年代別	10歳代	20	5.0	20.0	70.0	5.0
	20歳代	93	7.5	28.0	61.3	3.2
	30歳代	156	8.3	25.0	62.2	4.5
	40歳代	209	7.2	27.3	62.2	3.3
	50歳代	249	1.6	23.7	67.9	6.8
	60歳代	390	3.6	28.2	54.6	13.6
	70歳代	456	3.7	17.1	47.6	31.6
	80歳以上	296	2.7	7.8	40.9	48.6

④外出（買い物や通院など）の手伝いについて、全体として「頼みたくない」という回答が最も高い割合を占めていますが、70歳代、80歳以上ではその割合が低くなっています。「頼みたい」という回答は最も少なかったものの、このうち80歳以上は他の年代と比べて高い割合を占めています。また、「時には頼みたい」という回答については、特に50歳代が高い割合を占めています。

④外出（買い物や通院など）の手伝い

単位 (%)		全体 (人)	頼みたい	時には頼みたい	頼みたくない	無回答
全体		1,880	8.6	35.2	43.9	12.3
年代別	10歳代	20	5.0	55.0	35.0	5.0
	20歳代	93	8.6	28.0	60.2	3.2
	30歳代	156	4.5	31.4	61.5	2.6
	40歳代	209	7.7	34.9	56.0	1.4
	50歳代	249	4.8	43.0	48.6	3.6
	60歳代	390	8.5	39.0	44.1	8.5
	70歳代	456	9.9	38.6	34.9	16.7
	80歳以上	296	13.2	22.0	32.1	32.8

⑤庭の手入れや掃除の手伝いについては、全体として「頼みたくない」という回答が高い割合を占めていますが、70歳以上ではその割合が低くなっています。「頼みたい」という回答は最も少なかったものの、このうち20歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。また、「時には頼みたい」という回答については、特に50歳代、60歳代が高い割合を占めています。

⑤庭の手入れや掃除の手伝い

単位 (%)		全体 (人)	頼みたい	時には頼みたい	頼みたくない	無回答
全体		1,880	8.7	31.0	47.9	12.4
年代別	10歳代	20	5.0	50.0	40.0	5.0
	20歳代	93	12.9	28.0	55.9	3.2
	30歳代	156	4.5	30.8	62.2	2.6
	40歳代	209	5.7	30.1	62.2	1.9
	50歳代	249	7.6	34.5	53.0	4.8
	60歳代	390	9.5	34.1	49.2	7.2
	70歳代	456	9.4	32.7	42.1	15.8
	80歳以上	296	10.8	22.0	32.1	35.1

⑥郵便物・宅配物の一時預かりについては、全体として「頼みたくない」という回答が高い割合を占めていますが、70歳以上ではその割合が低くなっています。「頼みたい」という回答は最も少なかったものの、このうち70歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。また、「時には頼みたい」という回答については、特に60歳代、70歳代が高い割合を占めています。

⑥郵便物・宅配物の一時預かり

単位 (%)		全体 (人)	頼みたい	時には頼みたい	頼みたくない	無回答
全体		1,880	9.1	34.9	43.2	12.8
年代別	10歳代	20	10.0	25.0	60.0	5.0
	20歳代	93	8.6	32.3	55.9	3.2
	30歳代	156	5.8	32.7	59.0	2.6
	40歳代	209	6.7	30.6	60.3	2.4
	50歳代	249	10.4	37.8	47.0	4.8
	60歳代	390	8.2	40.5	43.6	7.7
	70歳代	456	11.0	39.3	32.9	16.9
	80歳以上	296	10.1	24.3	31.1	34.5

⑦冠婚葬祭の手伝いについては、全体として「時には頼みたい」、「頼みたくない」という回答が同程度を占めていますが、50歳代～70歳代では、「時には頼みたい」の回答者の割合が「頼みたくない」の回答者の割合を上回っています。また、「頼みたい」という回答については、特に60歳代が高い割合を占めています。

⑦冠婚葬祭の手伝い

単位 (%)		全体 (人)	頼みたい	時には頼みたい	頼みたくない	無回答
全体		1,880	12.2	37.5	37.4	12.8
年代別	10歳代	20	5.0	40.0	50.0	5.0
	20歳代	93	11.8	32.3	52.7	3.2
	30歳代	156	8.3	39.1	50.0	2.6
	40歳代	209	11.0	39.7	47.8	1.4
	50歳代	249	12.0	42.6	40.2	5.2
	60歳代	390	16.2	42.8	34.1	6.9
	70歳代	456	12.3	39.3	31.1	17.3
	80歳以上	296	11.1	23.0	30.4	35.5

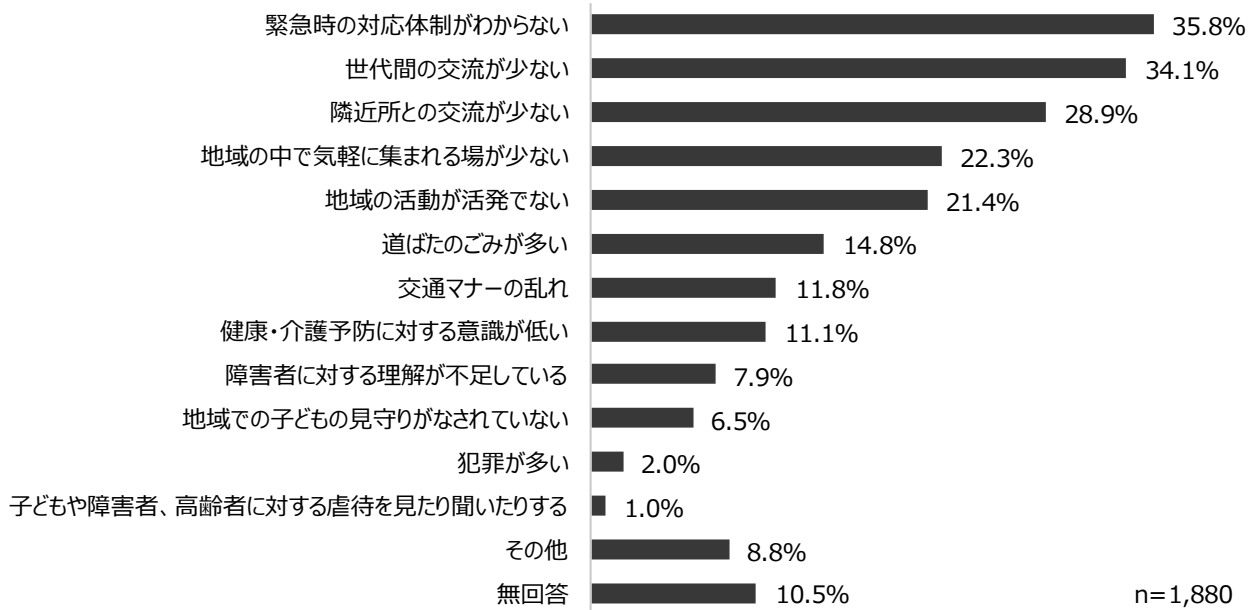
⑧災害時の手助けについては、すべての年代で「時には頼みたい」と回答した人の割合が高くなっており、その中でも特に40歳代～60歳代が高い割合を占めています。

⑧災害時の手助け

単位 (%)		全体 (人)	頼みたい	時には頼みたい	頼みたくない	無回答
全体		1,880	32.9	46.5	11.6	9.0
年代別	10歳代	20	45.0	45.0	5.0	5.0
	20歳代	93	41.9	45.2	9.7	3.2
	30歳代	156	34.6	46.2	16.7	2.6
	40歳代	209	31.6	52.6	13.9	1.9
	50歳代	249	29.7	51.8	14.9	3.6
	60歳代	390	33.8	53.3	8.7	4.1
	70歳代	456	33.8	45.2	10.7	10.3
	80歳以上	296	30.1	32.4	10.8	26.7

(14) 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものはなんですか(複数回答)

「緊急時の対応体制がわからない（35.8%）」、「世代間の交流が少ない（34.1%）」という回答が最も多く、次いで、「隣近所との交流が少ない（28.9%）」、「地域の中で気軽に集まれる場が少ない（22.3%）」、「地域の活動が活発でない（21.4%）」、「道端のごみが多い（14.8%）」、「交通マナーの乱れ（11.8%）」、「健康・介護予防に対する意識が低い（11.1%）」の順で回答が多くなっています。



《年代別・地区別》

地域の中での問題点・不足していると思う点について、回答を年代別にみると、10歳代では「地域の活動が活発でない」、20歳代～50歳代では「緊急時の対応体制がわからない」、60歳代と70歳代では「世代間の交流が少ない」と回答した人の割合が最も高くなっています。80歳以上では、「隣近所との交流が少ない」、「世代間の交流が少ない」と回答した人の割合が同程度に高くなっています。

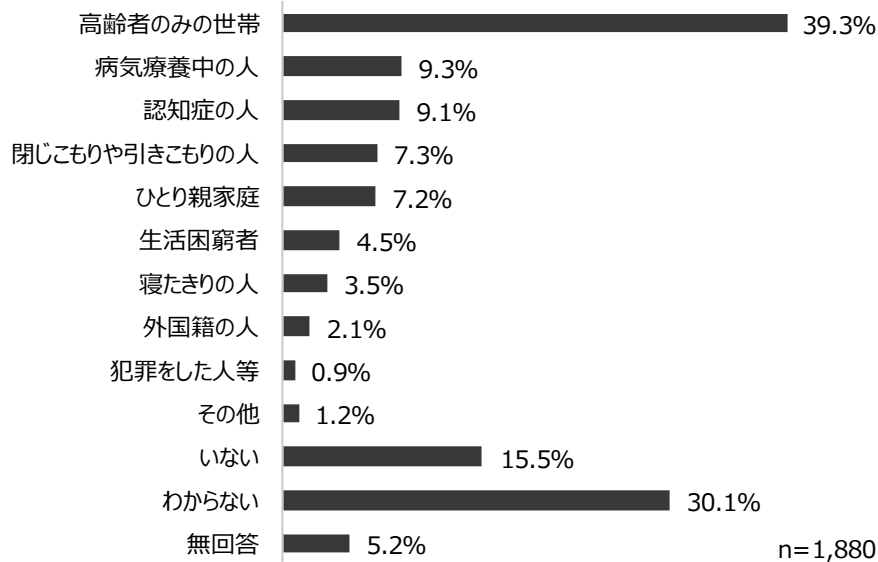
また、地区別にみると、「隣近所との交流が少ない」と回答した人の割合は、小見川地区、佐原地区で高く、栗源地区、山田地区では低くなっています。「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」と回答した人の割合は、佐原地区、栗源地区で高く、小見川地区、山田地区では低くなっています。「道ばたのごみが多い」点については、他の地区と比べて山田地区で高くなっています。「緊急時の対応体制がわからない」点については、他の地区と比べて小見川地区で高く、山田地区では低くなっています。「健康・介護予防に対する意識が低い」点については、他の地区と比べて栗源地区で高くなっています。「障害者に対する理解が不足している」点については、他の地区と比べて山田地区で高くなっています。

単位 (%)	全体 (人)	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	地域の活動が活発でない	守りがなされていい見	地域での子どもが見	道ばたのごみが多い	緊急時の対応体制がわからない
全体	1,880	28.9	34.1	22.3	21.4	6.5	14.8	35.8	
年代別	10歳代	20	20.0	35.0	20.0	40.0	0.0	15.0	35.0
	20歳代	93	16.1	28.0	20.4	11.8	6.5	10.8	36.6
	30歳代	156	22.4	30.8	22.4	21.2	14.7	14.1	37.2
	40歳代	209	22.5	28.2	18.2	17.2	12.0	16.7	39.2
	50歳代	249	20.9	29.7	21.3	17.3	5.2	18.9	37.8
	60歳代	390	33.1	37.2	18.7	21.0	6.4	16.9	36.2
	70歳代	456	34.0	39.0	24.6	27.6	3.9	14.5	35.3
	80歳以上	296	34.8	34.5	28.4	20.6	3.7	9.8	31.8
地区別	佐原地区	989	30.0	34.1	24.7	21.5	6.4	14.2	36.2
	小見川地区	536	30.6	34.1	18.7	21.8	7.3	13.4	37.3
	山田地区	258	23.3	35.3	20.5	20.2	6.6	21.3	32.6
	栗源地区	82	19.5	32.9	24.4	22.0	3.7	14.6	34.1

単位 (%)	交通マナーの乱れ	健康・介護意識が低い	犯罪が多い	子どもや障害者、高齢者に対する虐待、見たり聞いたりする	子どもや障害者、高齢者に対する理解	障害者に対する理解	その他	無回答
全体	11.8	11.1	2.0	1.0	7.9	8.8	10.5	
年代別	10歳代	5.0	10.0	5.0	0.0	10.0	25.0	15.0
	20歳代	9.7	7.5	0.0	2.2	11.8	14.0	6.5
	30歳代	23.7	11.5	5.8	0.6	8.3	10.9	9.0
	40歳代	20.1	8.6	2.9	1.4	10.0	9.6	6.2
	50歳代	14.9	10.0	2.0	1.6	10.0	14.5	7.6
	60歳代	7.2	9.7	1.8	0.8	7.9	9.0	10.0
	70歳代	11.4	14.0	0.9	0.9	7.2	3.9	12.1
	80歳以上	5.1	11.8	2.0	0.3	4.4	5.7	15.9
地区別	佐原地区	12.6	10.4	2.3	1.1	7.4	9.2	9.6
	小見川地区	11.6	11.8	1.5	0.7	7.5	7.8	12.7
	山田地区	10.5	11.2	1.9	0.8	10.9	8.9	10.5
	栗源地区	7.3	15.9	2.4	0.0	7.3	9.8	7.3

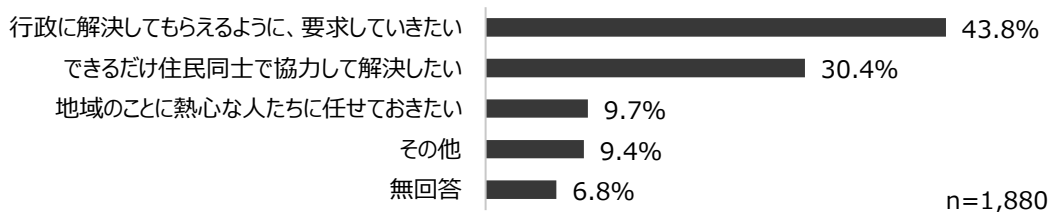
(15)あなたの近所には、次のような、見守り等支援が必要な人や、気にかかる人（何らかの課題を抱えている人）がいますか(複数回答)

「高齢者のみの世帯（39.3%）」という回答が最も多くなっていますが、「わからない（30.1%）」、「いない（15.5%）」という回答も多くなっています。



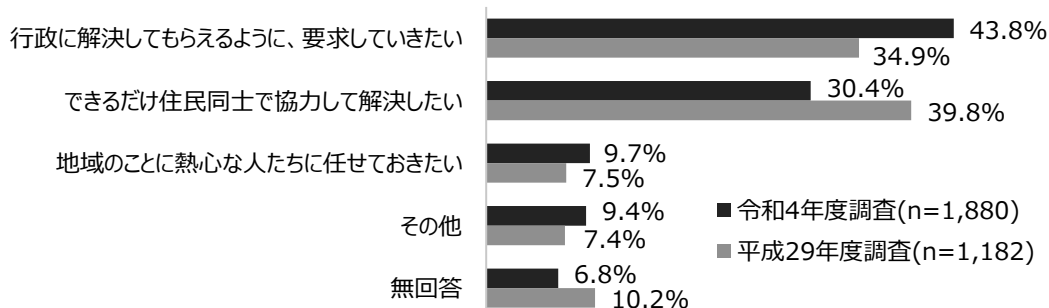
(16)地域の中で起きている身近な課題（例：児童生徒の安全・安心や、孤独死など）に対して、あなたはどのような方法で解決するのが良いと思いますか(単一回答)

「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」という回答が最も多く43.8%、次いで、「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい（30.4%）」、「地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい（9.7%）」の順で回答が多くなっています。



前回調査との比較

5年前の平成29年調査の結果と比較すると、「できるだけ住民同士で協力して解決したい」という回答が減少し、代わって「行政に解決してもらえるように要求したい」という回答が増加しています。



《年代別・地区別》

地域の中の身近な課題の解決方法について、回答を年代別にみると、70歳代では「自分たちの生活にかかわることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」と回答した人の割合が最も高く、それ以外の年代では「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」と回答した人の割合が高くなっています。

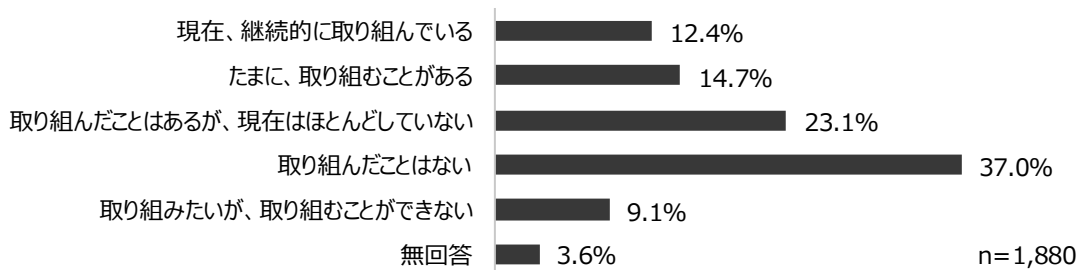
また、地区別にみると、栗源地区では「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」と回答した人の割合が高く、そのほかの地区では「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」と回答した人の割合が高くなっています。

単位 (%)	全体 (人)	回答内容					無回答
		行政に解決してもらえるように、要求していきたい	できるだけ住民同士で協力して解決したい	地域のことに熱心な人たちに任せておきたい	その他	無回答	
全体	1,880	30.4	9.7	43.8	9.4	6.8	
年代別	10歳代	20	15.0	5.0	70.0	5.0	5.0
	20歳代	93	25.8	16.1	44.1	9.7	4.3
	30歳代	156	19.2	15.4	51.3	12.2	1.9
	40歳代	209	26.8	7.7	49.3	14.8	1.4
	50歳代	249	22.9	4.8	52.2	14.9	5.2
	60歳代	390	32.1	8.5	45.6	7.7	6.2
	70歳代	456	39.5	7.7	37.5	7.2	8.1
	80歳以上	296	32.1	15.2	35.5	4.4	12.8
地区別	佐原地区	989	28.8	9.7	46.0	9.3	6.2
	小見川地区	536	29.9	10.4	41.8	11.0	6.9
	山田地区	258	34.9	7.8	43.4	6.6	7.4
	栗源地区	82	39.0	9.8	32.9	9.8	8.5

問3 地域活動やボランティア活動について

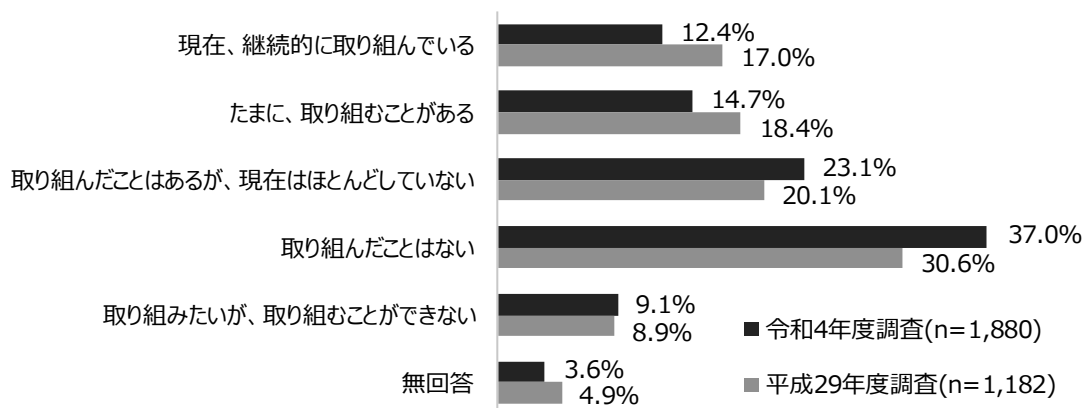
(17) あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んでいますか
(単一回答)

「取り組んだことはない」という回答が最も多く37.0%、次いで、「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない（23.1%）」、「たまたま、取り組むことがある（14.7%）」、「現在、継続的に取り組んでいる（12.4%）」、「取り組みたいが、取り組むことができない（9.1%）」の順で回答が多くなっています。



前回調査との比較

「取り組んだことはない」「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」という回答が5年前の調査よりも増加し、代わって、「たまたま、取り組むことがある」「現在、継続的に取り組んでいる」という回答が減少しています。



《年代別・地区別》

地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等の取組状況について、年代別にみると、すべての年代で「取り組んだことはない」と回答した人の割合が最も高く、中でも特に20歳代が高い割合を占めています。「現在、継続的に取り組んでいる」という回答は最も少なかったものの、このうち30歳代、60歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。また、「たまたま、取り組むことがある」という回答については、特に60歳代が高い割合を占めています。

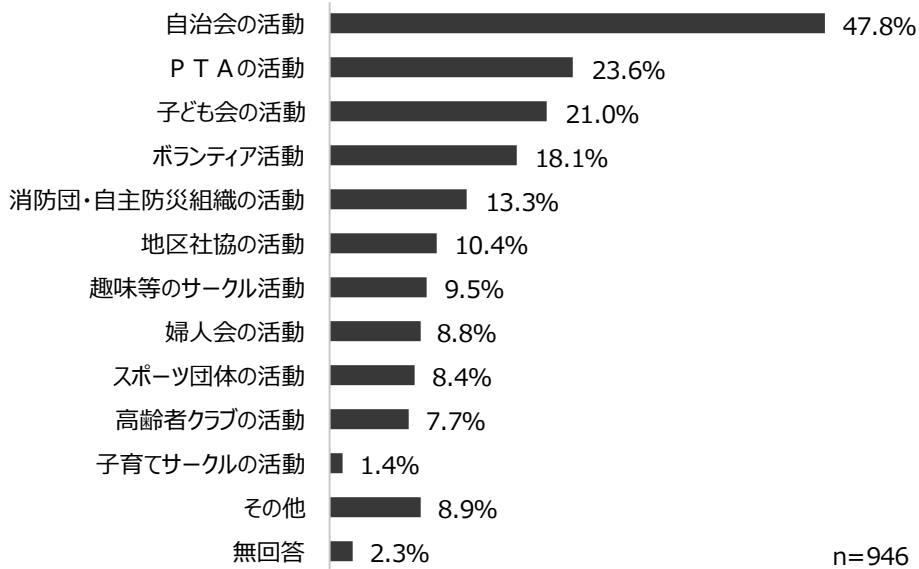
また、回答を地区別にみると、「現在、継続的に取り組んでいる」と回答した人の割合は、栗源地区、山田地区で高く、佐原地区、小見川地区では低くなっています。「取り組んだことはない」と回答した人の割合は、小見川地区、佐原地区で高く、栗源地区、山田地区では低くなっています。「取り組みたいが、取り組むことができない」と回答した人の割合は、他の地区と比べて栗源地区で高くなっています。

単位 (%)		全体 (人)	組 現 在 で い る	と た ま ま に あ る	ど る 取 り 組 み が あ る	い り 取 り 組 み が あ る	い り 取 り 組 む こ と が あ る	無 回 答
全体		1,880	12.4	14.7	23.1	37.0	9.1	3.6
年代別	10歳代	20	5.0	5.0	25.0	30.0	30.0	5.0
	20歳代	93	3.2	9.7	25.8	51.6	7.5	2.2
	30歳代	156	16.7	14.7	12.8	45.5	9.6	0.6
	40歳代	209	10.5	18.7	18.7	40.2	9.6	2.4
	50歳代	249	12.0	18.5	25.7	34.9	6.8	2.0
	60歳代	390	16.4	20.5	21.8	33.6	3.6	4.1
	70歳代	456	14.7	14.3	25.2	34.4	8.6	2.9
	80歳以上	296	6.4	4.4	27.7	36.8	17.6	7.1
地区別	佐原地区	989	10.8	14.7	22.4	38.8	9.4	3.8
	小見川地区	536	12.3	14.4	21.6	39.0	9.5	3.2
	山田地区	258	16.3	16.7	28.7	29.1	6.6	2.7
	栗源地区	82	20.7	13.4	23.2	25.6	13.4	3.7

問(17)において「1」、「2」、「3」(現在または過去に取り組んでいる)の方のみに対する質問

(18) どんな活動をしていますか(複数回答)

「自治会の活動」という回答が最も多く47.8%、次いで、「PTAの活動(23.6%)」、「子ども会の活動(21.0%)」、「ボランティア活動(18.1%)」、「消防団・自主防災組織の活動(13.3%)」、「地区社協の活動(10.4%)」の順で回答が多くなっています。



《性別》

地域活動やボランティア活動等の取り組みについて、回答を男女別にみると、特に「自治会の活動」、「消防団・自主防災組織の活動」、「スポーツ団体の活動」に関しては、女性と比べて男性の割合が高くなっています。他方、「PTAの活動」、「子ども会の活動」、「婦人会の活動」などについては、男性と比べて女性の割合が高くなっています。

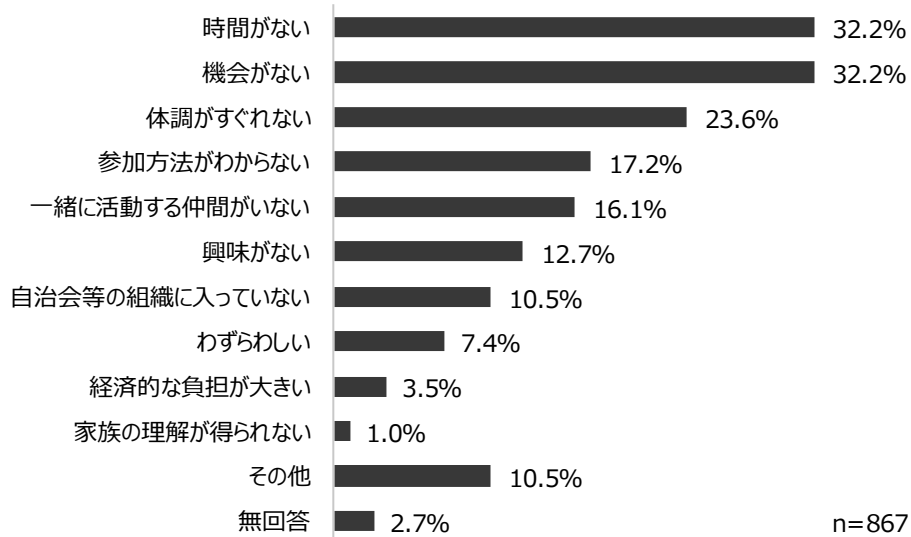
単位 (%)		全体 (人)	自治会の活動	婦人会の活動	子ども会の活動	PTAの活動	の子育てサークル	動ボランティア活	地区社協の活動
全体		946	47.8	8.8	21.0	23.6	1.4	18.1	10.4
性別	男性	479	62.6	0.6	14.2	14.0	0.2	16.1	11.7
	女性	456	31.8	17.5	28.5	33.6	2.6	20.6	9.2

単位 (%)		高齢者クラブの活動	消防団・自主防災組織の活動	趣味等のサークル	スポーツ団体の活動	その他	無回答
全体		7.7	13.3	9.5	8.4	8.9	2.3
性別	男性	5.8	25.3	5.6	10.4	10.0	2.1
	女性	9.2	0.7	13.6	6.4	7.9	2.6

問(17)において「4」、「5」(取り組んでいない)と回答された方のみに対する質問

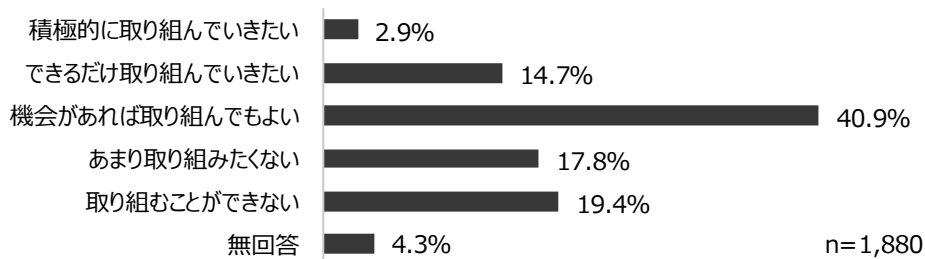
(19) 現在活動していない理由は何ですか(複数回答)

「時間がない」、「機会がない」という回答が最も多く32.2%、次いで、「体調がすぐれない(23.6%)」、「参加方法がわからない(17.2%)」、「一緒に活動する仲間がいない(16.1%)」、「興味がない(12.7%)」、「自治会等の組織に入っていない(10.5%)」の順で回答が多くなっています。



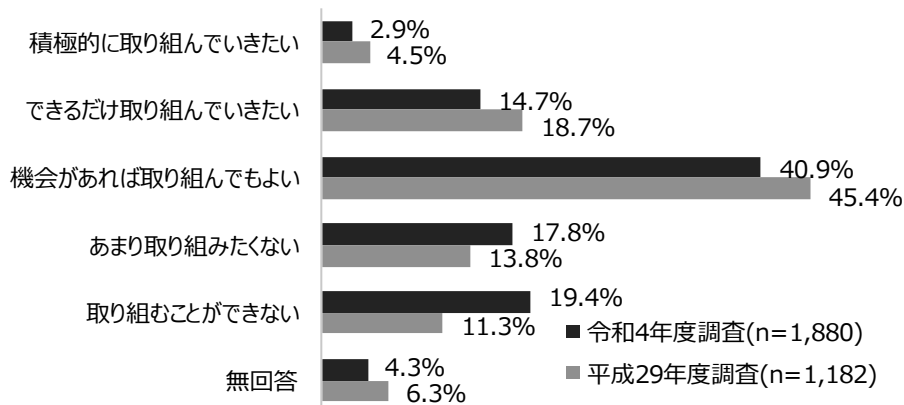
(20) あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか(単一回答)

「機会があれば取り組んでもよい」という回答が最も多く40.9%、次いで、「取り組むことができない(19.4%)」、「あまり取り組みたくない(17.8%)」、「できるだけ取り組んでいきたい(14.7%)」の順で回答が多くなっています。



前回調査との比較

「機会があれば取り組んでもよい」「できるだけ取り組んでいきたい」という回答が減少し、代わって、「取り組むことができない」、「あまり取り組みたくない」、という回答が増加しています。



《年代別》

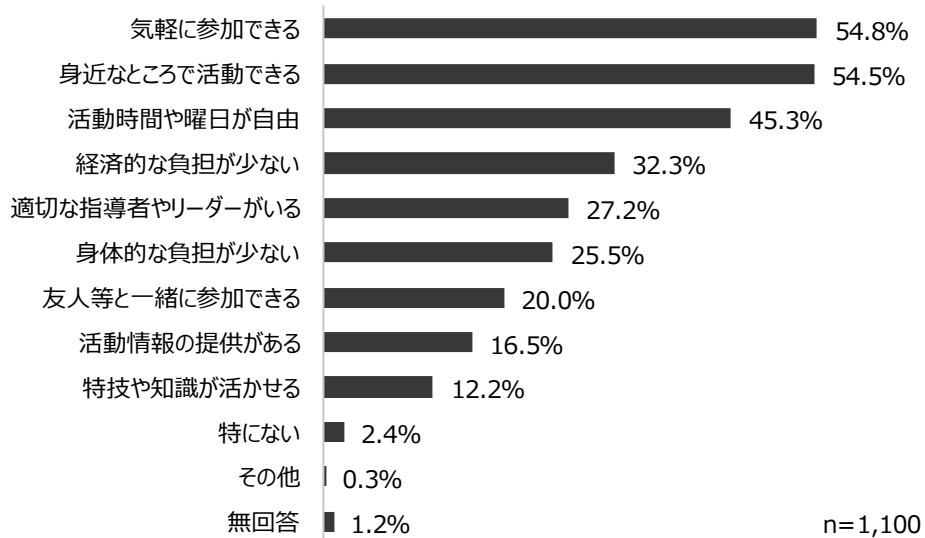
地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に今後どの程度取り組んでいきたいかについて、回答を年代別にみると、10歳代～70歳代では「機会があれば取り組んでもよい」と回答した人の割合が最も高くなっています。「あまり取り組みたくない」と回答した人を年代別にみると、20歳代～60歳代で高くなっています。80歳以上では、「取り組むことができない」と回答した人の割合が最も高く、48.0%を占めています。

単位 (%)	全体 (人)	積極的に取り組んでいきたい	できるだけ取り組んでいきたい	機会があれば取り組んでもよい	あまり取り組みたくない	取り組むことができない	無回答	
全体	1,880	2.9	14.7	40.9	17.8	19.4	4.3	
年代別	10歳代	20	10.0	30.0	40.0	10.0	5.0	5.0
	20歳代	93	4.3	15.1	46.2	28.0	5.4	1.1
	30歳代	156	4.5	15.4	45.5	24.4	9.6	0.6
	40歳代	209	4.8	13.4	50.2	20.6	8.6	2.4
	50歳代	249	2.0	14.1	48.6	19.3	14.5	1.6
	60歳代	390	2.6	18.2	45.1	18.2	12.6	3.3
	70歳代	456	3.5	16.2	40.8	15.4	20.8	3.3
	80歳以上	296	0.3	8.4	18.6	11.1	48.0	13.5

問(20)において「1」、「2」、「3」(取り組む意向がある)と回答した方のみに対する質問(問 22 まで)

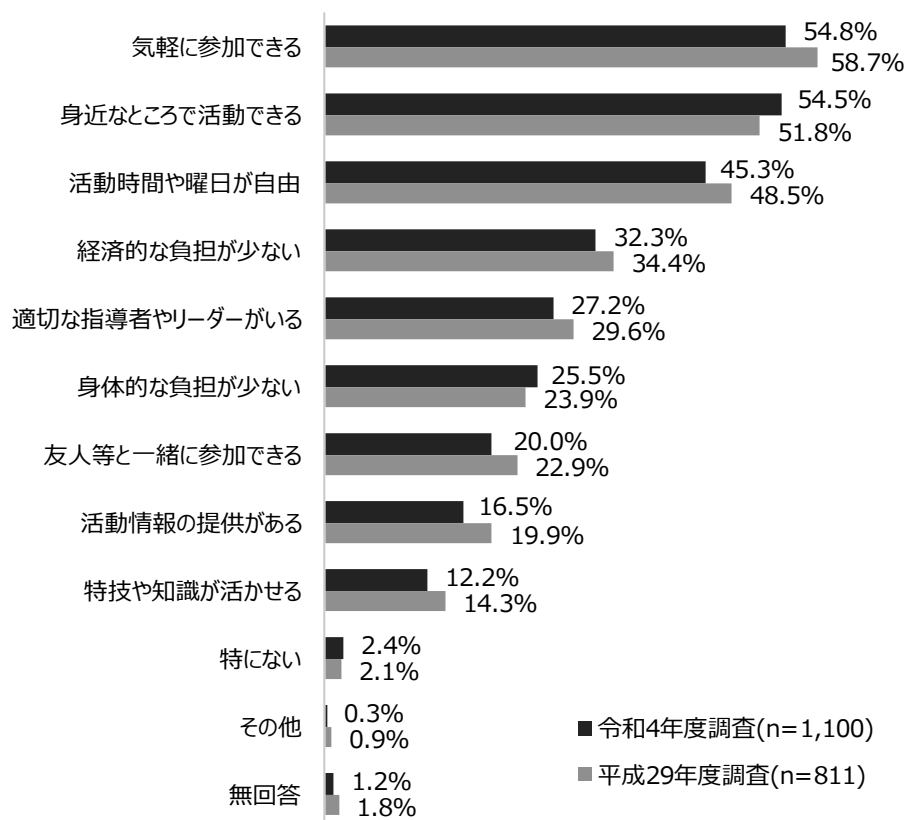
(21) どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか(複数回答)

「気軽に参加できる(54.8%)」、「身近なところで活動できる(54.5%)」という回答が最も多く、次いで、「活動時間や曜日が自由(45.3%)」、「経済的な負担が少ない(32.3%)」、「適切な指導者やリーダーがいる(27.2%)」、「身体的な負担が少ない(25.5%)」、「友人等と一緒に参加できる(20.0%)」の順で回答が多くなっています。



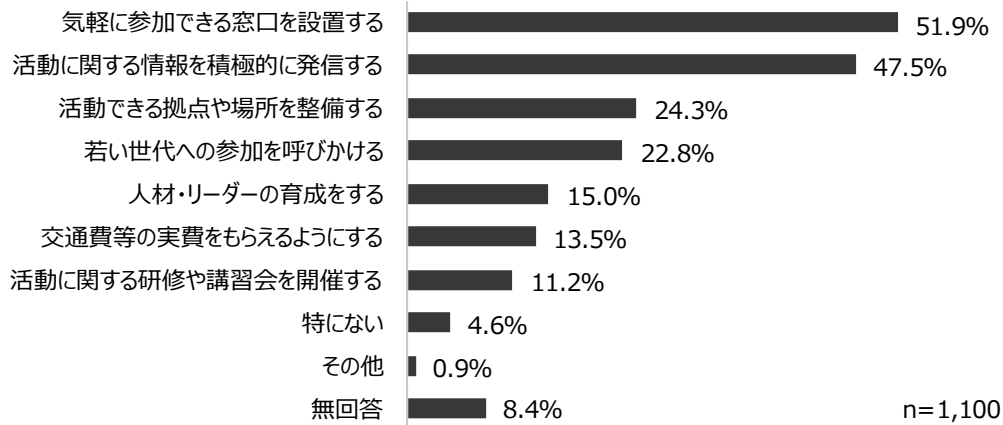
前回調査との比較

前回調査から大きな変化はなく、気軽に、近場で活動できるのであれば活動・参加してみたいという回答が上位を占めています。



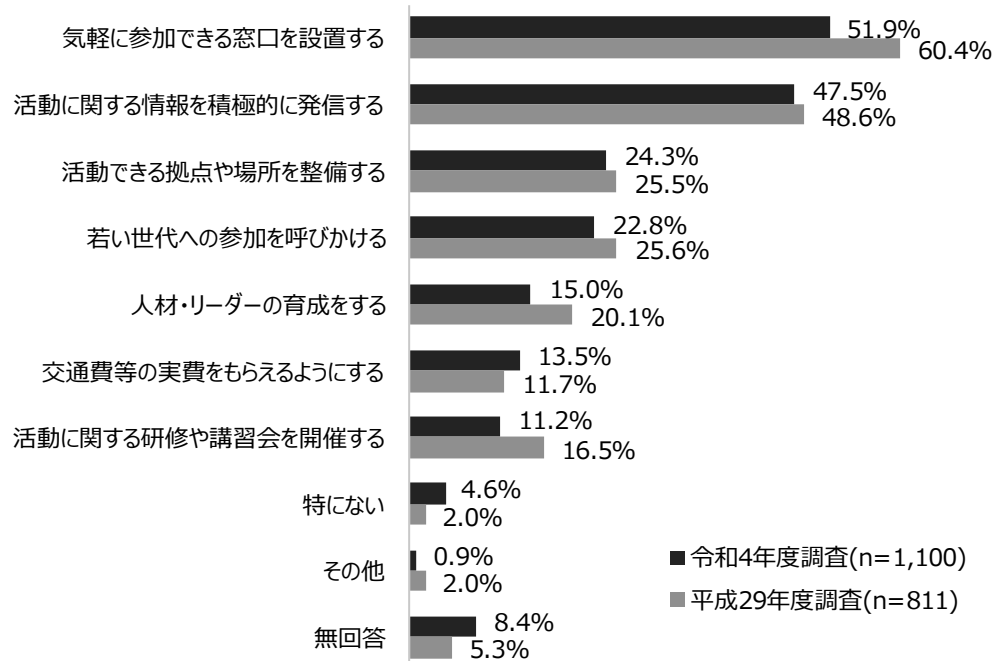
(22) あなたが、今後、地域活動やボランティア活動の輪を広げていくためには、どのようなことが必要だと思いますか(3つまで)

「気軽に参加できる窓口を設置する」という回答が最も多く51.9%、次いで、「活動に関する情報を積極的に発信する(47.5%)」、「活動できる拠点や場所を整備する(24.3%)」、「若い世代への参加を呼びかける(22.8%)」の順で回答が多くなっています。



前回調査との比較

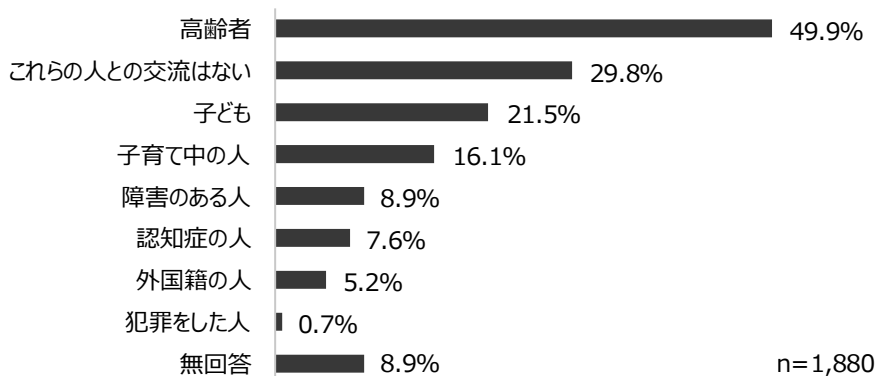
前回調査から回答の傾向に大きな変化はなく、「気軽に相談できる窓口の設置」「活動に関する情報を積極的に発信する」という回答が上位を占めています。



問4 地域での交流について

(23) あなたは、日常生活の中で次のような人と交流する機会がありますか（自分の家族を除きます）（複数回答）

「高齢者」という回答が最も多く49.9%、次いで、「これらの人との交流はない（29.8%）」、「子ども（21.5%）」、「子育て中の人（16.1%）」の順で回答が多くなっています。



◀性別・年代別▶

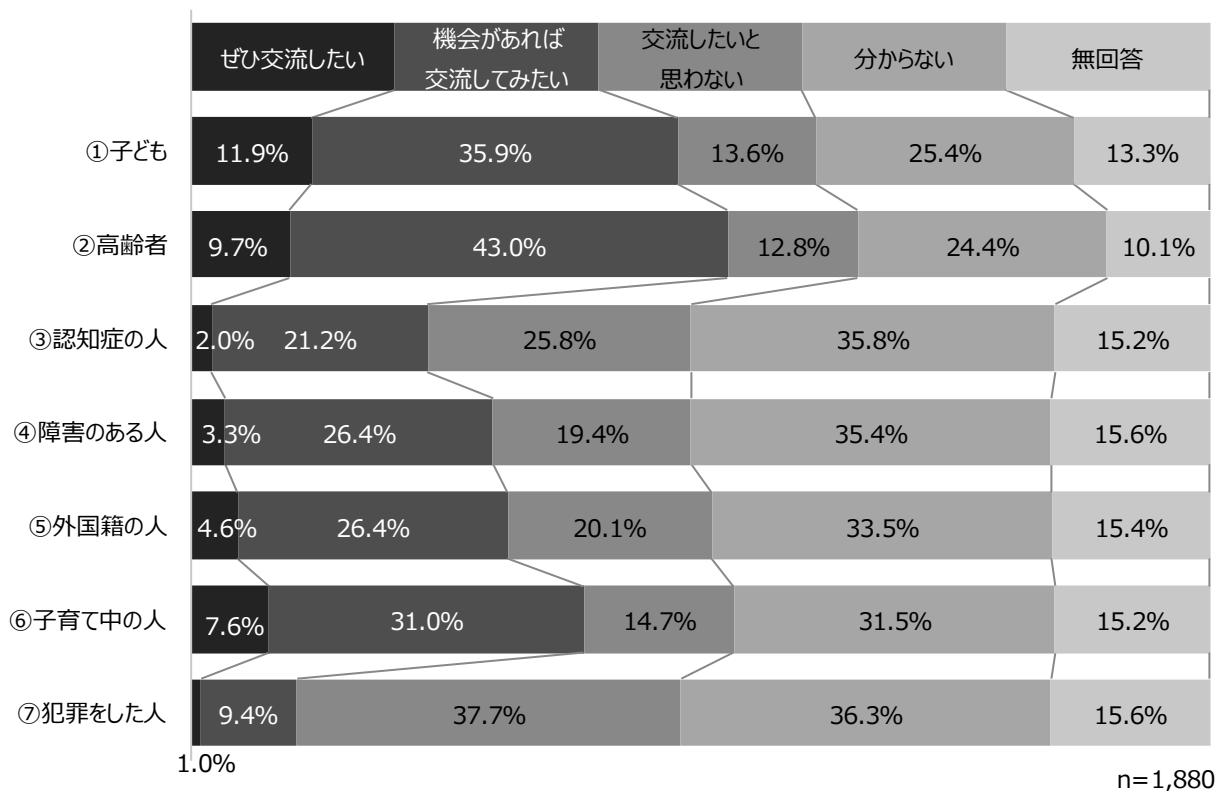
地域の人々との交流について、回答を性別で見ると、男性と女性いずれも「高齢者」と交流する機会があると回答した人の割合が最も高くなっています。次に、「これらの人との交流はない」と回答した人の割合が高く、また、女性では「子ども」と交流する機会があると回答した人の割合も同程度に高くなっています。

回答を年代別にみると、30歳代では、「子ども」、「高齢者」、「子育て中の人」と交流する機会があると回答した人の割合が同程度に高くなっています。70歳代、80歳以上では、「高齢者」と交流する機会があると回答した人の割合が全体の半数以上を占めていますが、それ以外の人々との交流する機会は少なくなっています。また、「これらの人との交流はない」と回答した人の割合は、特に60歳代で高くなっています。

単位 (%)		全体 (人)	子ども	高齢者	認知症の人	障害のある人	外国籍の人	子育て中の人	犯罪をした人	これらの人との交流はない	無回答
全体		1,880	21.5	49.9	7.6	8.9	5.2	16.1	0.7	29.8	8.9
性別	男性	813	18.1	47.4	4.9	7.3	5.4	11.4	0.9	35.9	8.0
	女性	1,048	24.4	52.1	9.7	10.4	5.2	19.8	0.6	25.4	9.2
年代別	10歳代	20	20.0	55.0	5.0	0.0	10.0	5.0	0.0	35.0	10.0
	20歳代	93	31.2	47.3	9.7	11.8	11.8	24.7	0.0	34.4	2.2
	30歳代	156	47.4	47.4	10.9	12.2	11.5	45.5	0.6	26.9	1.3
	40歳代	209	37.3	42.6	11.0	14.4	9.1	31.1	2.4	33.0	1.9
	50歳代	249	24.5	51.8	9.2	13.3	6.8	22.5	1.6	30.1	5.2
	60歳代	390	17.7	45.1	7.7	7.9	5.6	13.1	0.3	37.9	7.2
	70歳代	456	13.6	56.6	3.5	6.1	1.5	5.5	0.4	25.7	12.3
	80歳以上	296	9.1	52.4	7.8	5.1	0.7	3.4	0.0	23.3	18.9

(24) あなたは今後、次の①から⑦の人と交流したいと思いますか(○はそれぞれ1つ)

①子ども、②高齢者については、「ぜひ交流したい」、「機会があれば交流してみたい」という回答が約半数を占めています。一方、③認知症の人、④障害のある人、⑤外国籍の人、⑥子育て中の人に関しては「分からない」という回答が3割を超え、⑦犯罪をした人は、「交流したいと思わない」が最も多くなっています。



《年代別》

①子どもについては、全体として「機会があれば交流してみたい」という回答が最も多く、中でも特に20歳代の占める割合が高くなっています。「ぜひ交流したい」という回答は最も少なかったものの、このうち30歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。

①子ども

単位 (%)		全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流したい	交流したいと思わない	分からない	無回答
全体		1,880	11.9	35.9	13.6	25.4	13.3
年代別	10歳代	20	20.0	50.0	5.0	20.0	5.0
	20歳代	93	18.3	51.6	7.5	19.4	3.2
	30歳代	156	27.6	35.9	16.7	16.0	3.8
	40歳代	209	17.2	46.9	14.8	20.6	0.5
	50歳代	249	11.2	37.3	15.3	30.5	5.6
	60歳代	390	9.5	38.5	13.8	28.2	10.0
	70歳代	456	8.8	33.3	13.2	28.3	16.4
	80歳以上	296	6.1	22.3	12.5	23.3	35.8

②高齢者については、すべての年代で「機会があれば交流してみたい」と回答した人の割合が高くなっています。「ぜひ交流したい」という回答は最も少なかったものの、このうち80歳以上は他の年代と比べて高い割合を占めています。

②高齢者

単位 (%)		全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流したい	交流したいと思わない	分からない	無回答
全体		1,880	9.7	43.0	12.8	24.4	10.1
年代別	10歳代	20	15.0	45.0	15.0	20.0	5.0
	20歳代	93	9.7	46.2	12.9	28.0	3.2
	30歳代	156	11.5	41.0	21.8	21.8	3.8
	40歳代	209	9.1	44.5	18.2	27.8	0.5
	50歳代	249	4.8	43.8	15.3	29.7	6.4
	60歳代	390	4.6	47.2	12.1	26.9	9.2
	70歳代	456	12.3	42.8	9.6	22.1	13.2
	80歳以上	296	16.2	36.5	7.4	18.6	21.3

③認知症の人については、全体として「分からない」という回答が最も多かったものの、20歳代では「機会があれば交流してみたい」と回答した人の割合が高くなっています。また、「ぜひ交流したい」という回答についても、特に20歳代が高い割合を占めています。

③認知症の人

単位 (%)		全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流	交流したいと思	分からない	無回答
全体		1,880	2.0	21.2	25.8	35.8	15.2
年代別	10歳代	20	0.0	35.0	30.0	30.0	5.0
	20歳代	93	5.4	38.7	22.6	30.1	3.2
	30歳代	156	3.8	27.6	35.9	28.2	4.5
	40歳代	209	3.8	25.4	31.6	38.3	1.0
	50歳代	249	2.0	23.7	30.1	36.1	8.0
	60歳代	390	1.8	21.5	23.3	41.0	12.3
	70歳代	456	0.7	18.0	23.2	38.2	20.0
	80歳以上	296	1.4	11.8	20.6	29.7	36.5

④障害のある人については、全体として「分からない」という回答が最も多かったものの、10歳代～30歳代では「機会があれば交流してみたい」と回答した人の割合が高くなっています。また、「ぜひ交流したい」という回答については、特に20歳代が高い割合を占めています。

④障害のある人

単位 (%)		全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流	交流したいと思	分からない	無回答
全体		1,880	3.3	26.4	19.4	35.4	15.6
年代別	10歳代	20	5.0	45.0	15.0	30.0	5.0
	20歳代	93	8.6	37.6	21.5	29.0	3.2
	30歳代	156	4.5	37.2	28.2	25.6	4.5
	40歳代	209	5.3	34.4	23.4	36.4	0.5
	50歳代	249	4.4	28.9	20.5	37.8	8.4
	60歳代	390	2.3	28.2	16.4	40.8	12.3
	70歳代	456	2.6	22.6	18.9	35.7	20.2
	80歳以上	296	1.0	12.5	14.9	33.1	38.5

⑤外国籍の人については、全体として「分からない」という回答が最も多かったものの、20歳代、30歳代、40歳代では「機会があれば交流してみたい」と回答した人の割合が高くなっています。また、「ぜひ交流したい」という回答については、20歳代が高い割合を占めています。

⑤外国籍の人

単位 (%)	全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流	交流したいと思	分からない	無回答	
全体	1,880	4.6	26.4	20.1	33.5	15.4	
年代別	10歳代	20	25.0	40.0	0.0	30.0	5.0
	20歳代	93	16.1	41.9	14.0	24.7	3.2
	30歳代	156	9.6	39.7	28.2	19.2	3.2
	40歳代	209	8.1	41.1	20.6	29.7	0.5
	50歳代	249	3.6	34.5	18.1	34.9	8.8
	60歳代	390	3.8	26.9	20.0	37.2	12.1
	70歳代	456	2.2	18.6	21.3	37.7	20.2
	80歳以上	296	0.3	8.8	18.2	34.1	38.5

⑥子育て中の人については、全体として「分からない」と「機会があれば交流してみたい」という回答が同程度の割合を占めていますが、特に20歳代、30歳代、40歳代では「機会があれば交流してみたい」と回答した人の割合が高くなっています。また、「ぜひ交流したい」という回答については、30歳代が高い割合を占めています。

⑥子育て中の人

単位 (%)	全体 (人)	ぜひ交流したい	機会があれば交流	交流したいと思	分からない	無回答	
全体	1,880	7.6	31.0	14.7	31.5	15.2	
年代別	10歳代	20	10.0	35.0	15.0	35.0	5.0
	20歳代	93	17.2	44.1	14.0	21.5	3.2
	30歳代	156	22.4	41.0	16.0	16.7	3.8
	40歳代	209	13.4	45.9	14.8	25.4	0.5
	50歳代	249	8.0	34.1	14.9	35.3	7.6
	60歳代	390	5.1	35.4	13.6	33.8	12.1
	70歳代	456	3.5	24.1	15.1	37.5	19.7
	80歳以上	296	2.0	13.9	14.5	31.4	38.2

⑦犯罪をした人については、全体として「交流したいと思わない」と「分からない」という回答が同程度の割合を占めています。「ぜひ交流したい」という回答は最も少なかったものの、このうち40歳代は他の年代と比べて高い割合を占めています。また、「機会があれば交流してみたい」という回答については、20歳代が高い割合を占めています。

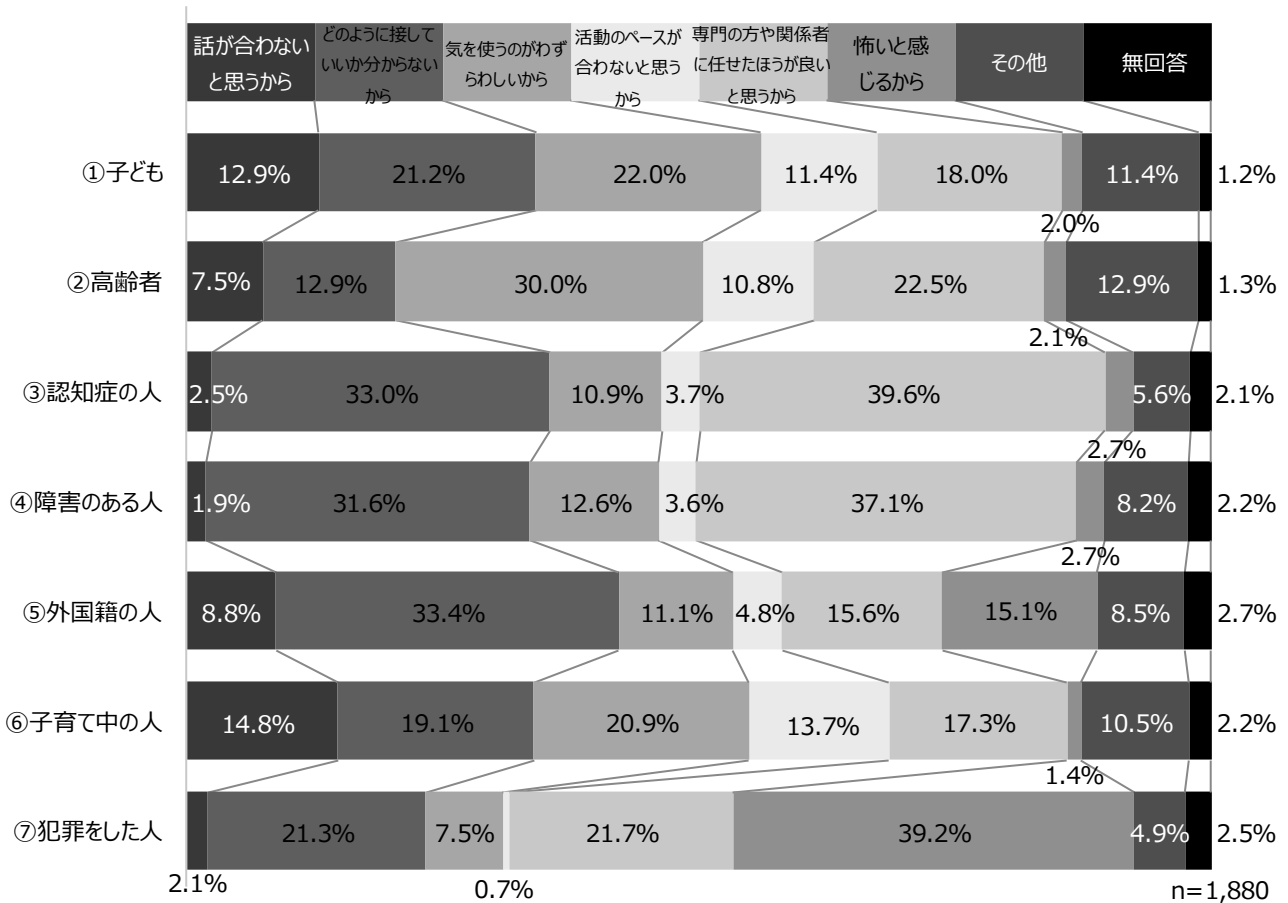
⑦犯罪をした人

単位 (%)		全体 (人)	ぜひ 交流 したい	機 会 が あ ら ば 交 流 し て み たい	交 流 し た い と 思 わ な い	分 か ら な い	無 回 答
全体		1,880	1.0	9.4	37.7	36.3	15.6
年 代 別	10歳代	20	0.0	15.0	50.0	25.0	10.0
	20歳代	93	1.1	20.4	46.2	29.0	3.2
	30歳代	156	1.3	13.5	56.4	23.1	5.8
	40歳代	209	2.9	14.4	46.4	35.9	0.5
	50歳代	249	2.0	11.6	37.3	41.0	8.0
	60歳代	390	0.8	10.3	36.9	40.5	11.5
	70歳代	456	0.2	6.1	33.1	39.9	20.6
	80歳以上	296	0.0	2.4	27.0	32.1	38.5

問(24)において1つでも「3.交流したいと思わない」の方のみに対する質問

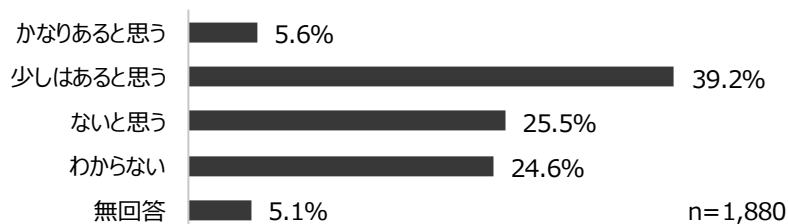
(25) 「3」を選んだ項目についてのみ、その理由を教えてください(○はそれぞれ1つ)

②高齢者については「気を使うのがわずらわしいから」という回答が最も多く、3割を占めています。③認知症の人、④障害のある人については、「専門の方や関係者に任せたいと思うから」という回答が最も多く、4割程度を占めています。



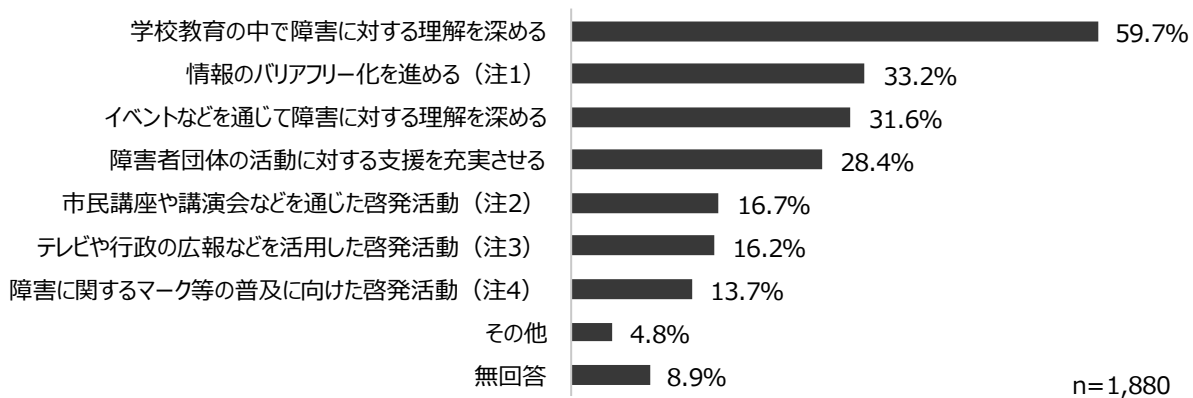
(26) あなたのまわりには、障害のある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか(単一回答)

「少しはあると思う」という回答が最も多く39.2%、次いで、「ないと思う(25.5%)」、「わからない(24.6%)」、「かなりあると思う(5.6%)」の順となっています。



(27) 障害のある人に対する差別や偏見をなくし理解を深めるために、今後、香取市としてどのような取り組みが必要だと思いますか(複数回答)

「学校教育の中で障害に対する理解を深める」という回答が最も多く 59.7%、次いで、「道路や公共施設、ウェブサイトなど情報のバリアフリー化を進める（33.2%）」、「イベントなどを通じて障害に対する理解を深める（31.6%）」、「障害者団体の活動に対する支援を充実させる（28.4%）」、「障害や福祉に関する市民講座や講演会などを通じた啓発活動を充実させる（16.7%）」、「テレビ・新聞や行政の広報・HP などを活用した啓発活動を充実させる（16.2%）」、「障害のある人等に関するマーク・標識の普及に向けた啓発活動を充実させる（13.7%）」の順で回答が多くなっています。



注 1 道路や公共施設、ウェブサイトなど情報のバリアフリー化を進める

注 2 障害や福祉に関する市民講座や講演会などを通じた啓発活動を充実させる

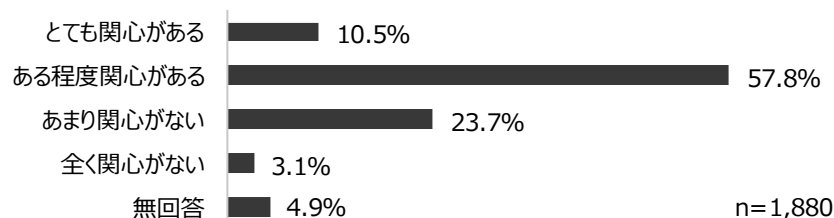
注 3 テレビ・新聞や行政の広報・HP などを活用した啓発活動を充実させる

注 4 障害のある人等に関するマーク・標識の普及に向けた啓発活動を充実させる

問5 福祉について

(28) あなたは「福祉」に関心をおもちですか(単一回答)

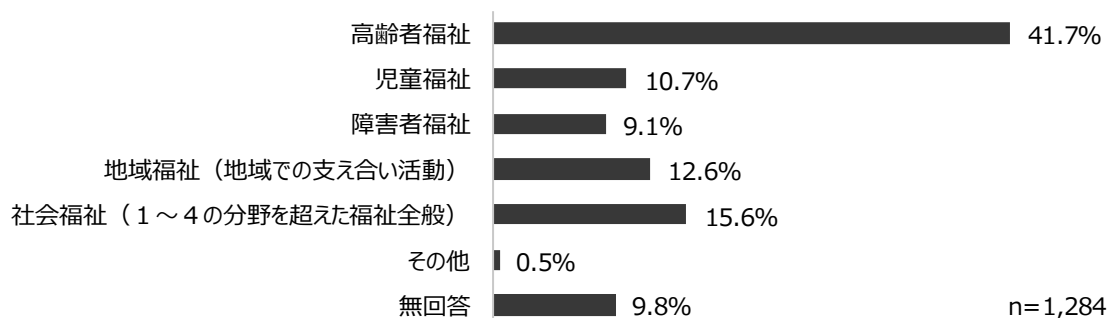
「ある程度関心がある」という回答が最も多く57.8%、次いで、「あまり関心がない(23.7%)」、「とても関心がある(10.5%)」、「全く関心がない(3.1%)」の順となっています。



問(28)において「1」、「2」(福祉に関心がある)と回答された方のみに対する質問

(29) 特にどの福祉の分野に関心をおもちですか(単一回答)

「高齢者福祉」という回答が最も多く41.7%、次いで、「社会福祉(1~4の分野を超えた福祉全般(15.6%))」、「地域福祉(地域での支え合い活動)(12.6%)」、「児童福祉(10.7%)」、「障害者福祉(9.1%)」の順となっています。



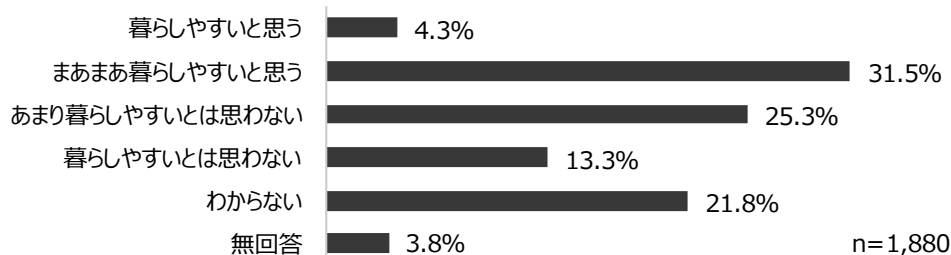
《年代別》

どの福祉の分野に関心があるかについて、回答を年代別にみると、10歳代と50歳以上で「高齢者福祉」と回答した人の割合が最も高くなっています。20歳代、30歳代では「児童福祉」と回答した人の割合が最も高くなっています。40歳代は「児童福祉」と同程度に「社会福祉」の割合も高くなっています。また、「障害者福祉」については、他の年代と比べて40歳代が最も高くなっています。

単位 (%)	全体 (人)	高齢者福祉	児童福祉	障害者福祉	動) での地域支援(合い地域)	た4社 福の分 祉野社 (を1え)	その他	無回答	
全体	1,284	41.7	10.7	9.1	12.6	15.6	0.5	9.8	
年代別	10歳代	12	33.3	25.0	8.3	25.0	0.0	0.0	8.3
	20歳代	59	11.9	32.2	8.5	15.3	18.6	0.0	13.6
	30歳代	93	21.5	34.4	6.5	6.5	16.1	0.0	15.1
	40歳代	128	18.0	22.7	16.4	10.2	21.1	1.6	10.2
	50歳代	157	40.1	9.6	7.6	12.1	19.1	0.6	10.8
	60歳代	264	41.3	6.1	9.8	15.9	17.4	0.8	8.7
	70歳代	351	51.0	6.0	9.1	14.5	11.7	0.0	7.7
	80歳以上	216	60.2	1.4	6.0	8.8	13.0	0.5	10.2

(30) 香取市は、子どもや子育てをする人、高齢者、障害のある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか(単一回答)

「まあまあ暮らしやすいと思う」という回答が最も多く 31.5%、次いで、「あまり暮らしやすいとは思わない (25.3%)」、「わからない (21.8%)」、「暮らしやすいとは思わない (13.3%)」、「暮らしやすいと思う (4.3%)」の順となっています。



《年代別・地区別》

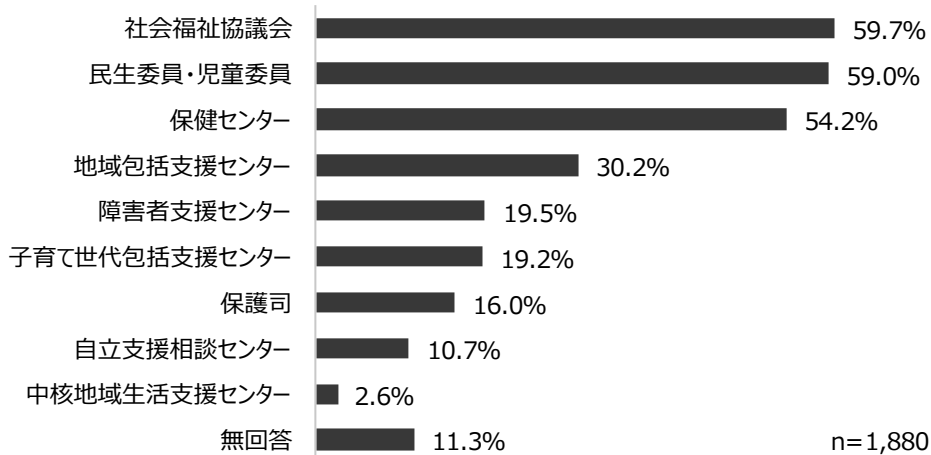
香取市が暮らしやすいまちだと思うかについて、回答を年代別にみると、10歳代、20歳代、30歳代、50歳代で「あまり暮らしやすいとは思わない」と回答した人の割合が最も高くなっています。40歳代では、「まあまあ暮らしやすいと思う」、「暮らしやすいとは思わない」、「あまり暮らしやすいとは思わない」とする回答が同程度の割合を占めています。

また、回答を地区別にみると、山田地区、佐原地区、小見川地区では、「まあまあ暮らしやすいと思う」と回答した人の割合が最も高く、栗源地区では「あまり暮らしやすいとは思わない」という回答が最も高い割合を占めています。

単位 (%)		全体 (人)	暮らしやすいと思う	まあまあ暮らしやすいと思う	あまり暮らしやすいとは思わない	暮らしやすいとは思わない	わからない	無回答
全体		1,880	4.3	31.5	25.3	13.3	21.8	3.8
年代別	10歳代	20	0.0	25.0	35.0	15.0	20.0	5.0
	20歳代	93	4.3	32.3	35.5	8.6	16.1	3.2
	30歳代	156	3.2	23.1	29.5	26.9	16.7	0.6
	40歳代	209	0.5	26.8	25.4	25.8	20.1	1.4
	50歳代	249	1.6	22.1	28.9	20.1	24.1	3.2
	60歳代	390	2.6	32.6	28.2	10.8	23.3	2.6
	70歳代	456	4.8	37.3	23.2	6.6	23.9	4.2
	80歳以上	296	11.5	37.2	16.2	6.1	20.9	8.1
地区別	佐原地区	989	5.0	31.2	25.6	13.0	21.1	4.0
	小見川地区	536	3.4	30.2	24.3	12.3	27.2	2.6
	山田地区	258	3.9	37.2	24.8	15.5	14.3	4.3
	栗源地区	82	3.7	26.8	29.3	15.9	19.5	4.9

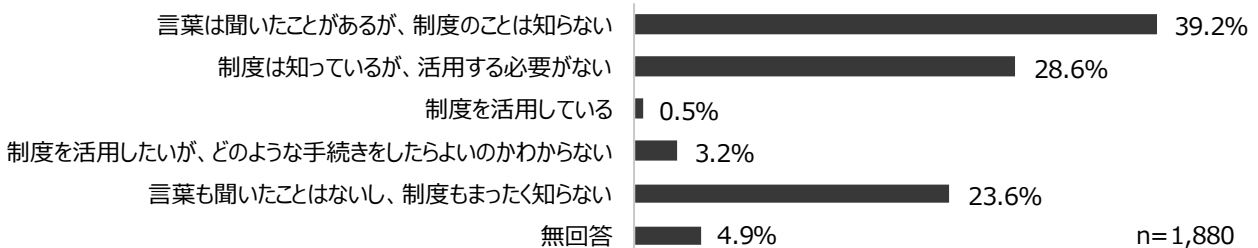
(31) あなたは、困りごとがあるときの相談窓口として、地域に次のような団体・機関があることを知っていますか(複数回答)

「社会福祉協議会（59.7%）」、「民生委員・児童委員（59.0%）」という回答が最も多く、次いで、「保健センター（54.2%）」、「地域包括支援センター（30.2%）」、「障害者支援センター（19.5%）」、「子育て世代包括支援センター（19.2%）」、「保護司（16.0%）」、「自立支援相談センター（10.7%）」の順で回答が多くなっています。



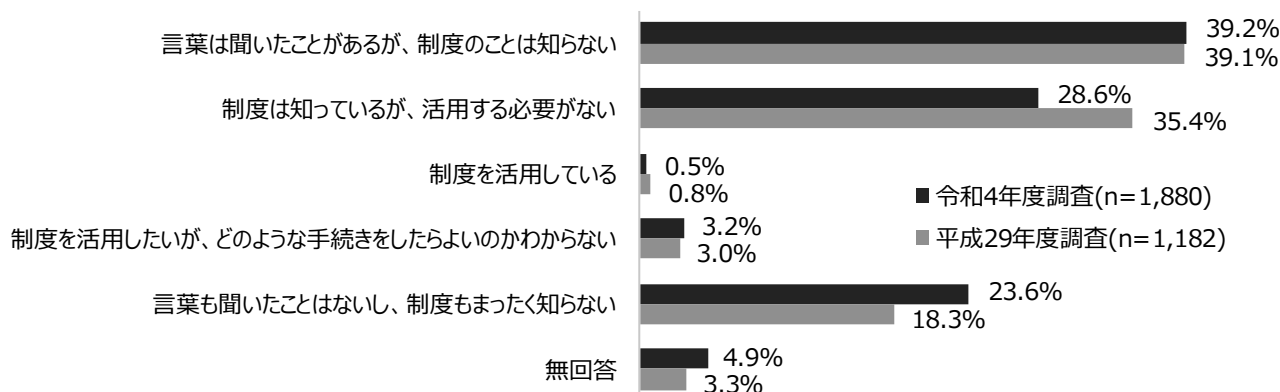
(32) 「成年後見制度」とは、本人が障害や認知症などで判断能力が十分でない場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度ですが、あなたはこの制度について知っていますか(単一回答)

「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」という回答が最も多く39.2%、次いで、「制度は知っているが、活用する必要がない（28.6%）」、「言葉も聞いたことはないし、制度も全く知らない（23.6%）」、「制度を活用したいが、どのような手続きをしたらよいのかわからない（3.2%）」、「制度を活用している（0.5%）」の順となっています。



前回調査との比較

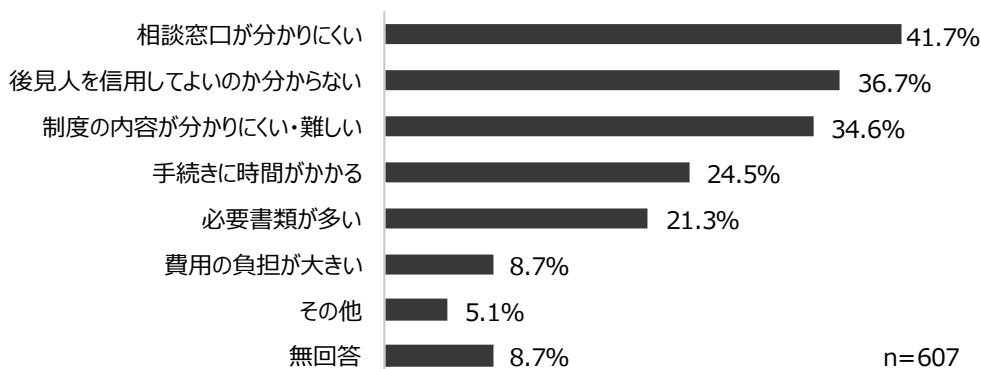
前回調査から回答の傾向に大きな変化はなく、「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」、「制度は知っているが、活用する必要がない」の順となっています。



問(32)において「2」、「3」、「4」（成年後見制度を「知っている」、「活用している」、「活用したい」と回答された方のみに対する質問

(33) 成年後見制度について、どのようなイメージをお持ちですか(複数回答)

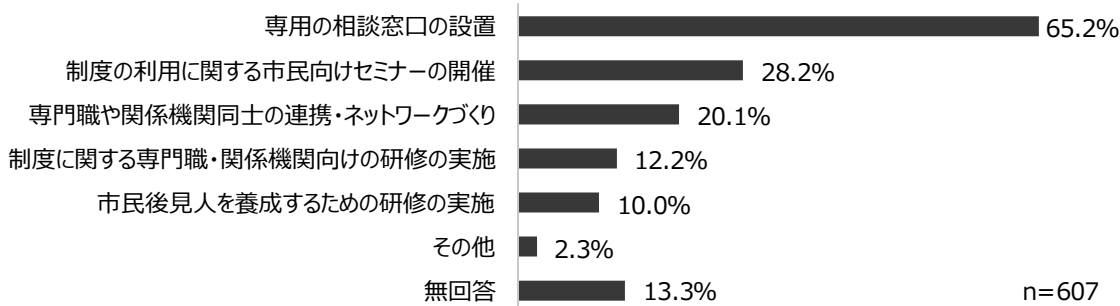
「相談窓口が分かりにくい」という回答が最も多く41.7%、次いで、「後見人を信用してよいか分からない（36.7%）」、「制度の内容が分かりにくい・難しい（34.6%）」、「手続きに時間がかかる（24.5%）」、「必要書類が多い（21.3%）」の順で回答が多くなっています。



問(32)において「2」、「3」、「4」（成年後見制度を「知っている」、「活用している」、「活用したい」）と回答された方のみに対する質問

(34) 制度を利用しやすくするために、香取市にどのようなことを求めますか(複数回答)

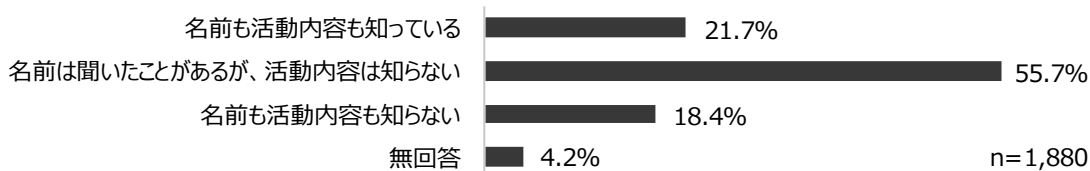
「専用相談窓口の設置」という回答が最も多く65.2%、次いで、「制度の利用に関する市民向けセミナーの開催（28.2%）」、「専門職や関係機関同士の連携・ネットワークづくり（20.1%）」、「制度に関する専門職・関係機関向けの研修の実施（12.2%）」、「市民後見人を養成するための研修の実施（10.0%）」の順で回答が多くなっています。



ここから全員

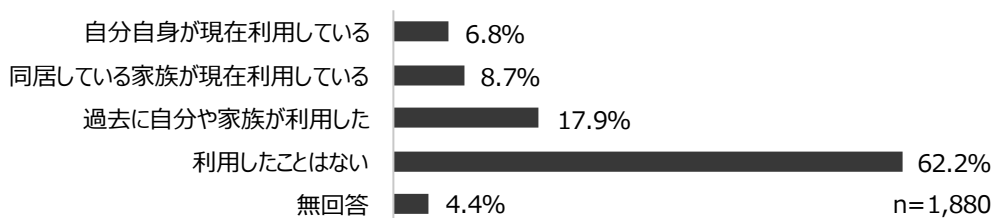
(35) あなたは、地域の福祉推進を図るために諸活動を行っている社会福祉協議会という組織を知っていますか(単一回答)

「名前は聞いたことがあるが、活動内容は知らない」という回答が最も多く55.7%、次いで、「名前も活動内容も知っている（21.7%）」、「名前も活動内容も知らない（18.4%）」の順となっています。



(36) あなたは、福祉サービス（介護保険サービスや障害福祉サービスなど）を利用していますか(単一回答)

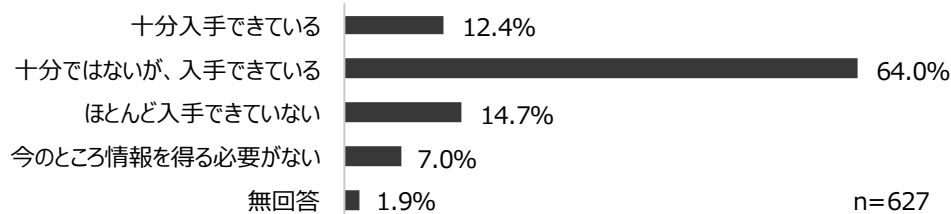
「利用したことはない」という回答が最も多く62.2%、次いで、「過去に自分や家族が利用した（17.9%）」、「同居している家族が現在利用している（8.7%）」、「自分自身が現在利用している（6.8%）」の順となっています。



問(36)において「1」、「2」、「3」（現在または過去に、自分自身または家族が利用したことがある）と回答された方のみに対する質問

(37) あなたは、自分や家族に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているとお考えですか(単一回答)

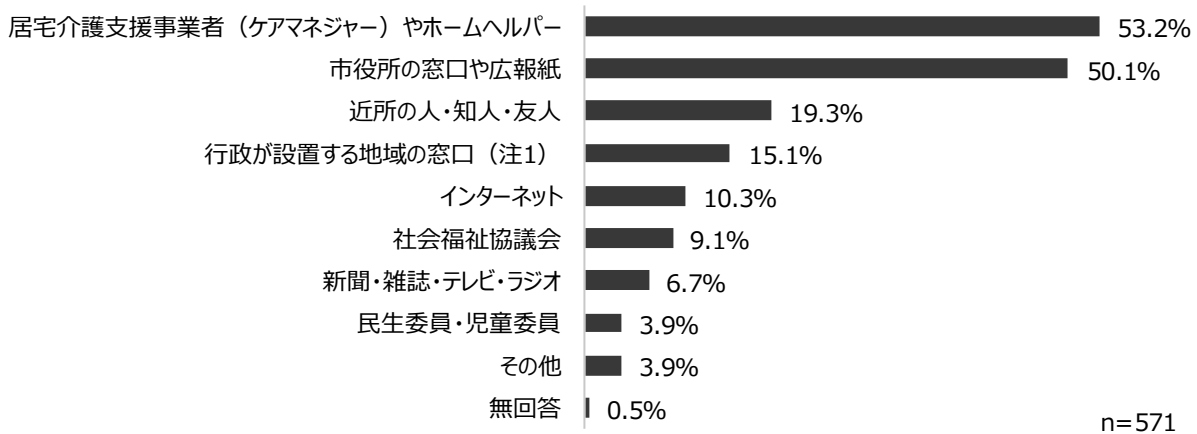
「十分ではないが、入手できている」という回答が最も多く64.0%、次いで、「ほとんど入手できていない（14.7%）」、「十分入手できている（12.4%）」、「今のところ情報を得る必要がない（7.0%）」の順となっています。



問(37)において「1」、「2」、「3」（情報を入手しようとしたことがある）の方のみに対する質問

(38) あなたは「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか(複数回答)

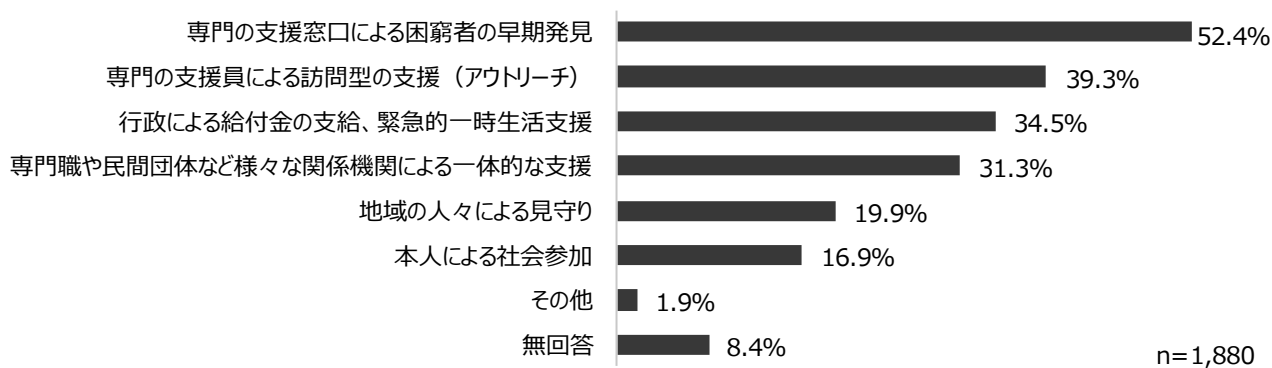
「居宅介護支援事業者（ケアマネジャー）やホームヘルパー」という回答が最も多く53.2%、次いで、「市役所の窓口や広報紙（50.1%）」、「近所の人・知人・友人（19.3%）」、「地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターなど行政が設置する地域の窓口（15.1%）」、「インターネット（10.3%）」の順で回答が多くなっています。「その他」の回答には、「医療機関や医療従事者」、「家族」、「福祉施設」などの回答が挙げられています。



注1 地域包括支援センターや子育て世代包括支援センターなど行政が設置する地域の窓口

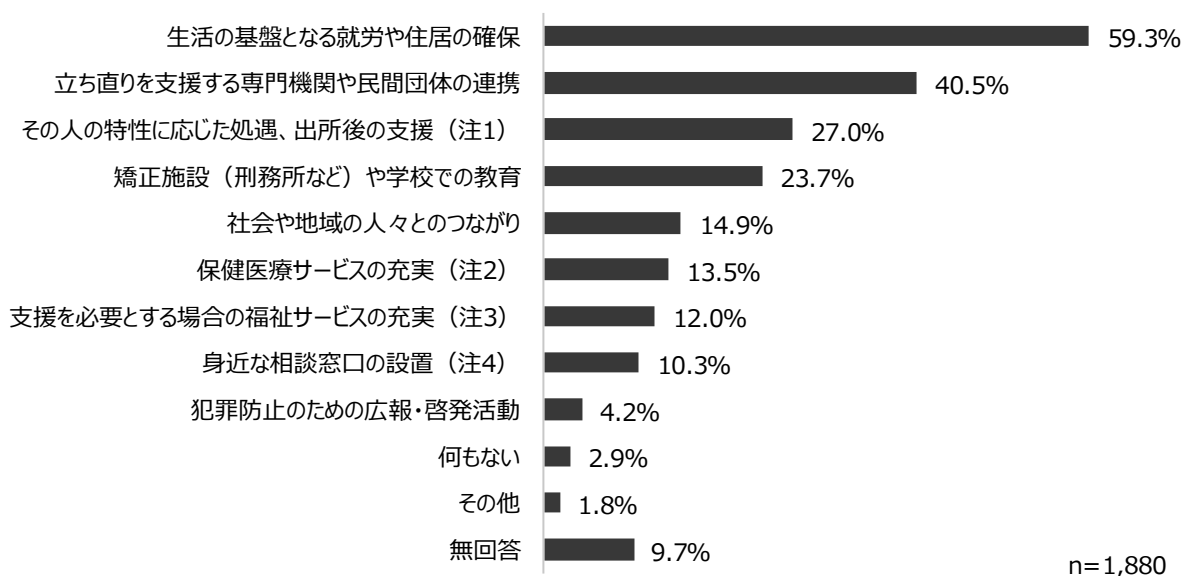
(39) あなたは、生活困窮者や社会的に孤立している人への支援のあり方について、どのようなことが重要だと思いますか
(3つまで)

「専門の支援窓口による困窮者の早期発見」という回答が最も多く52.4%、次いで、「専門の支援員による訪問型の支援（アウトリーチ）（39.3%）」、「行政による給付金の支給、緊急的一時生活支援（34.5%）」、「専門職や民間団体などさまざまな関係機関による一体的な支援（31.3%）」、「地域の人々による見守り（19.9%）」、「本人による社会参加（16.9%）」の順で回答が多くなっています。



(40) あなたは、犯罪をした人等が再び罪を犯さないようにするためには、どのようなことが大切だと思いますか(3つまで)

「生活の基盤となる就労や住居の確保」という回答が最も多く59.3%、次いで、「立ち直りを支援する専門機関や民間団体の連携(40.5%)」、「少年や女性、障害のある人など、その人の特性に応じた処遇、出所後の支援(27.0%)」、「矯正施設(刑務所など)や学校での教育(23.7%)」、「社会や地域の人々とのつながり(14.9%)」、「薬物等の依存症の治療などに係る保健医療サービスの充実(13.5%)」、「高齢や障害等により支援を必要とする場合の福祉サービスの充実(12.0%)」、「電話やメール、LINEなどによる身近な相談窓口の設置(10.3%)」の順で回答が多くなっています。



注1 少年や女性、障害のある人など、その人の特性に応じた処遇、出所後の支援

注2 薬物等の依存症の治療などに係る保健医療サービスの充実

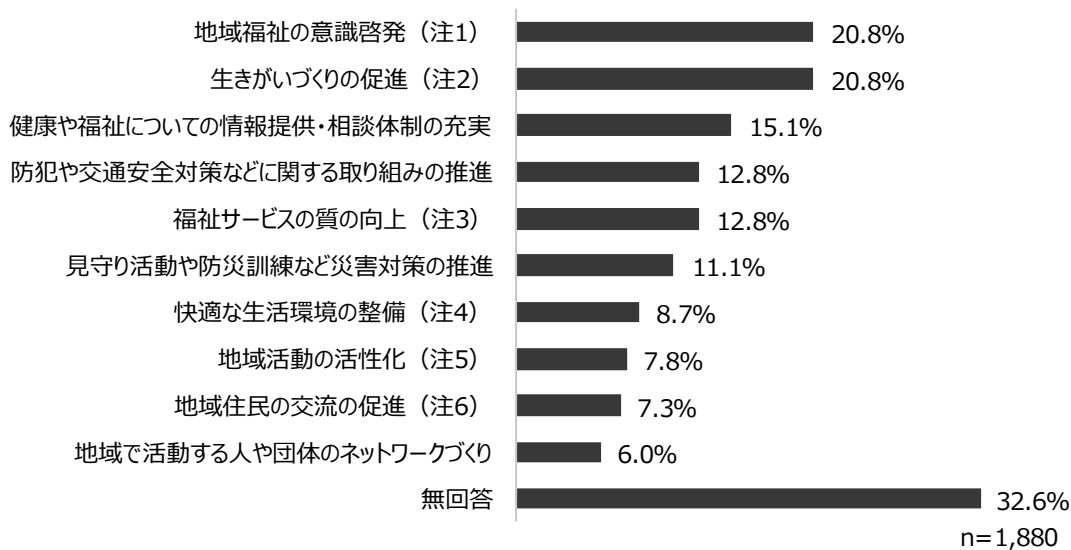
注3 高齢や障害等により支援を必要とする場合の福祉サービスの充実

注4 電話やメール、LINEなどによる身近な相談窓口の設置

問6 地域福祉のあり方について

(41) 香取市の保健福祉施策について、充実していると感じる取り組みはどれですか(3つまで)

「地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識啓発」、「介護予防や健康づくり、趣味や仕事などの生きがいの促進」という回答が最も多く20.8%、次いで、「健康や福祉についての情報提供・相談体制の充実（15.1%）」、「防犯や交通安全対策などに関する取り組みの推進（12.8%）」、「子ども、障害のある人、高齢者など支援を必要とする人への福祉サービスの質の向上（12.8%）」、「見守り活動や防災訓練など災害対策の推進（11.1%）」の順で回答が多くなっています。



注1 地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識啓発

注2 介護予防や健康づくり、趣味や仕事などの生きがいの促進

注3 子ども、障害のある人、高齢者など支援を必要とする人への福祉サービスの質の向上

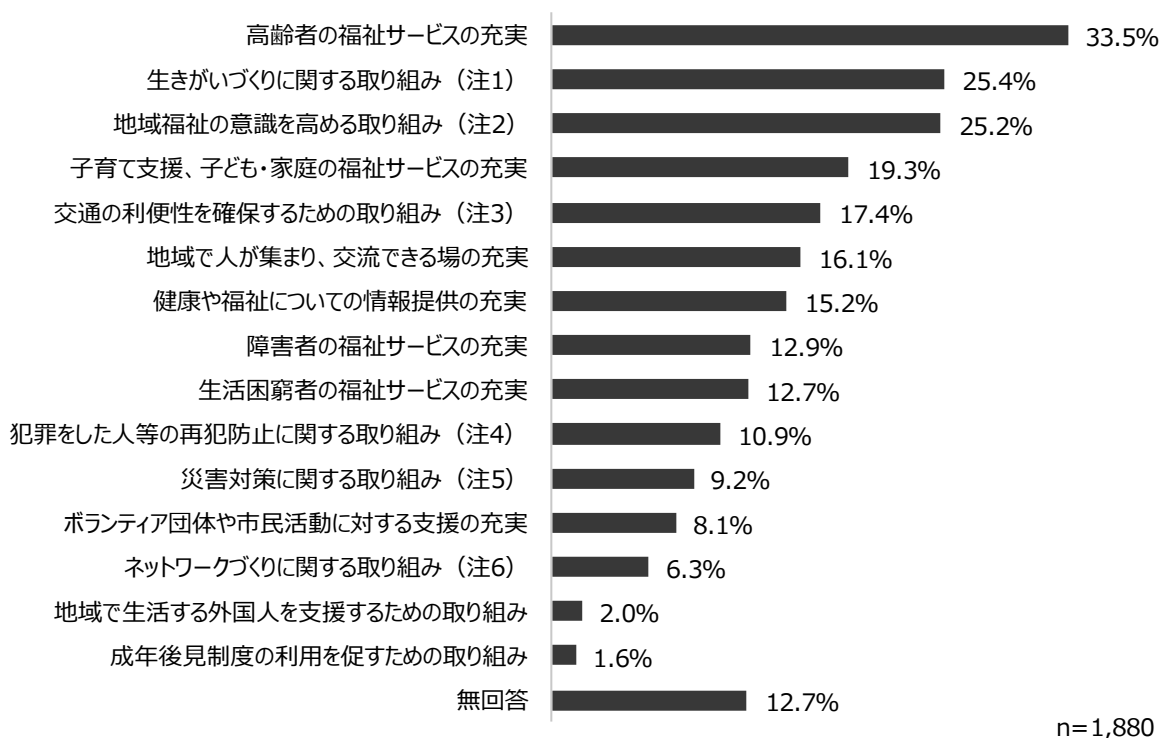
注4 道路や施設のバリアフリー化、交通の利便性の確保など快適な生活環境の整備

注5 ボランティア団体や市民活動に対する支援等を通じた地域活動の活性化

注6 身近なサロンやイベントの開催などによる地域住民の交流の促進

(42) 香取市の保健福祉施策を今後、より充実していくために、あなたが重要と考える取り組みはどれですか(3つまで)

「高齢者福祉サービスの充実」という回答が最も多く33.5%、次いで、「介護予防や健康づくり、趣味や仕事などの生きがいづくりに関する取り組み(25.4%)」、「地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識を高める取り組み(25.2%)」、「子育て支援、子ども・家庭の福祉サービスの充実(19.3%)」、「道路や施設のバリアフリー化、交通の利便性を確保するための取り組み(17.4%)」、「地域で人が集まり、交流できる場の充実(16.1%)」、「健康や福祉についての情報提供の充実(15.2%)」、「障害者の福祉サービスの充実(12.9%)」、「生活困窮者の福祉サービスの充実(12.7%)」、「防犯パトロールや交通安全、犯罪をした人等の再犯防止に関する取り組み(10.9%)」の順で回答が多くなっています。



注1 介護予防や健康づくり、趣味や仕事などの生きがいづくりに関する取り組み

注2 地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識を高める取り組み

注3 道路や施設のバリアフリー化、交通の利便性を確保するための取り組み

注4 防犯パトロールや交通安全、犯罪をした人等の再犯防止に関する取り組み

注5 見守り活動や防災訓練など災害対策に関する取り組み

注6 地域で活動する人や団体のネットワークづくりに関する取り組み

《年代別》

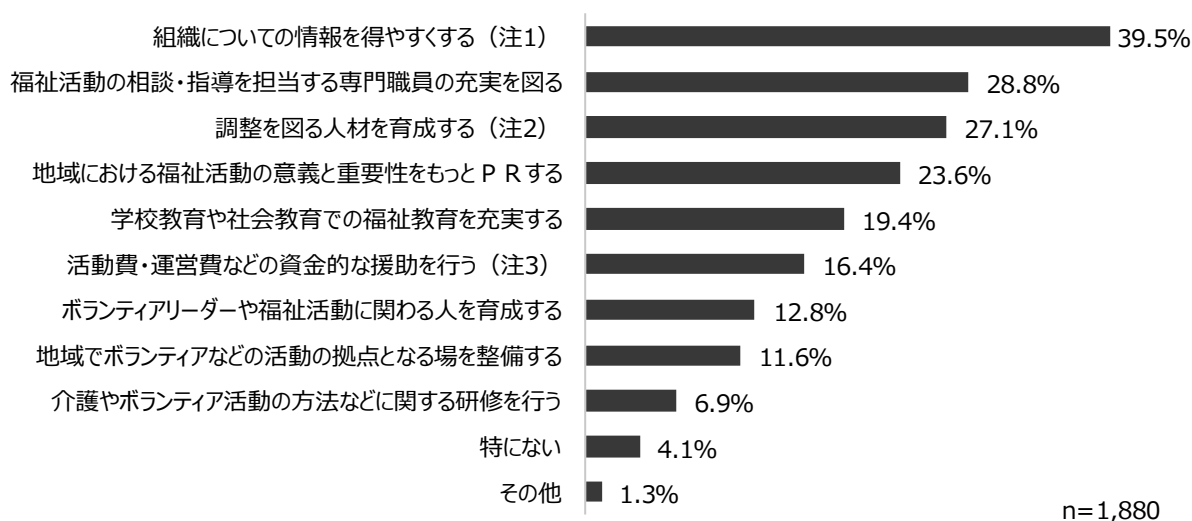
回答を年代別にみると、20歳代と30歳代では、「子育て支援、子ども・家庭の福祉サービスの充実」という回答が最も多く、次いで、「地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識を高める取り組み」が多くなっています。40歳代では、「子育て支援、子ども・家庭の福祉サービスの充実」と「高齢者の福祉サービスの充実」という回答が同程度に多くなっています。50歳以上では、「高齢者の福祉サービスの充実」という回答が最も多く、次いで、「介護予防や健康づくり、趣味や仕事などの生きがいづくりに関する取り組み」や「地域や学校での声かけ運動や福祉教育など、地域福祉の意識を高める取り組み」が多くなっています。

単位 (%)	全体 (人)	の意識を高める取り組み	地域や学校での声かけ運動や福祉教育など	くりや関する声かけ運動	味や仕事などの声かけ運動	介護予防や健康づくり、趣味	きる場の人が集まり、交流で	地域での充実	動に對する支援の充実	ボランティアの団体や市民活動	る取り組	ネットでの活動	地域での活動	健康や福祉についての情報	災害対策に動する防災訓練など	見守り活動や防災訓練など	防止に犯するたり交通再	防犯パトロールや交通安全犯
全体	1,880	25.2	25.4	16.1	8.1	6.3	15.2	9.2	10.9									
年代別	10歳代	20	25.0	25.0	20.0	5.0	5.0	5.0	10.0	25.0								
	20歳代	93	24.7	21.5	8.6	5.4	4.3	9.7	11.8	18.3								
	30歳代	156	32.7	21.8	19.9	6.4	5.8	18.6	5.1	17.9								
	40歳代	209	24.4	20.1	12.0	9.6	9.1	17.2	10.0	14.4								
	50歳代	249	24.1	24.9	13.7	7.2	5.2	12.9	7.2	10.4								
	60歳代	390	25.9	27.9	13.1	9.7	8.2	17.4	9.5	8.7								
	70歳代	456	25.2	30.0	20.4	9.2	7.0	16.9	10.1	10.1								
	80歳以上	296	23.0	22.6	18.6	6.1	3.0	11.1	10.1	6.1								

単位 (%)	実障害者の福祉サービスの充実	るため取り組	化、交通の利便性を確保す	道路や施設のバリアフリー	実高齢者の福祉サービスの充実	の子育て支援、子どもの充実・家庭	の生活困窮者の福祉サービスの充実	援地とするため外国人を支援	ため後の見取り組の利用を促す	無回答
全体	12.9	17.4	33.5	19.3	12.7	2.0	1.6	12.7		
年代別	10歳代	15.0	15.0	20.0	15.0	10.0	0.0	15.0		
	20歳代	14.0	18.3	18.3	46.2	15.1	9.7	3.2		
	30歳代	8.3	23.7	19.9	48.7	7.1	3.8	3.8		
	40歳代	19.1	19.1	28.7	29.7	15.3	2.4	6.7		
	50歳代	16.9	21.7	36.5	16.9	13.3	1.6	9.6		
	60歳代	11.0	16.7	32.6	16.4	12.3	1.8	14.1		
	70歳代	12.3	15.8	35.5	11.2	12.5	1.3	14.5		
	80歳以上	10.5	13.2	45.3	6.1	12.8	0.0	21.6		

(43) 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか(3つまで)

「困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする」という回答が最も多く39.5%、次いで、「福祉活動の相談・指導を担当する専門職員の充実を図る(28.8%)」、「困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する(27.1%)」、「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする(23.6%)」、「学校教育や社会教育での福祉教育を充実する(19.4%)」、「地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う(16.4%)」、「ボランティアリーダーや福祉活動に関わる人を育成する(12.8%)」、「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する(11.6%)」の順で回答が多くなっています。



注1 困っている人や、助け合いの場や組織についての情報を得やすくする

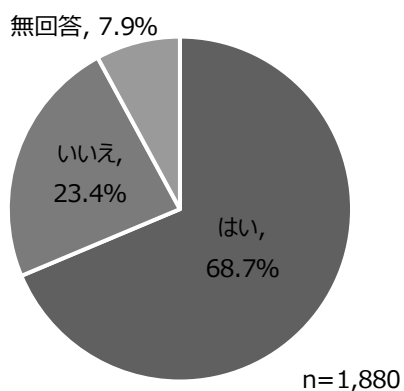
注2 困っている人と、支援できる人との調整を図る人材を育成する

注3 地域における福祉活動の活動費・運営費などの資金的な援助を行う

問7 災害対策について

(44) 地震や洪水など何らかの災害が発生したときのご自身の避難場所を把握していますか(単一回答)

「はい」という回答が最も多く68.7%、次いで、「いいえ（23.4%）」の順となっています。



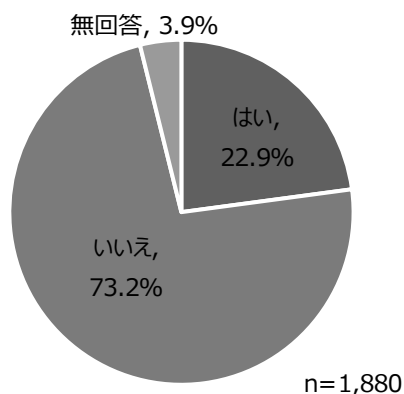
≪地区別≫

災害発生時の避難場所を把握しているかどうかについて、地区別にみると、他の地区と比べて栗源地区では、避難場所を把握している人の割合が低くなっています。

単位 (%)		全体 (人)	はい	いいえ	無回答
全体		1,880	68.7	23.4	7.9
地区別	佐原地区	989	68.9	23.6	7.6
	小見川地区	536	70.1	22.2	7.6
	山田地区	258	68.2	23.6	8.1
	栗源地区	82	58.5	28.0	13.4

(45) ご自身やご家族の中に、災害時の避難行動に支援が必要な方はいますか（一人で歩けないなど）（単一回答）

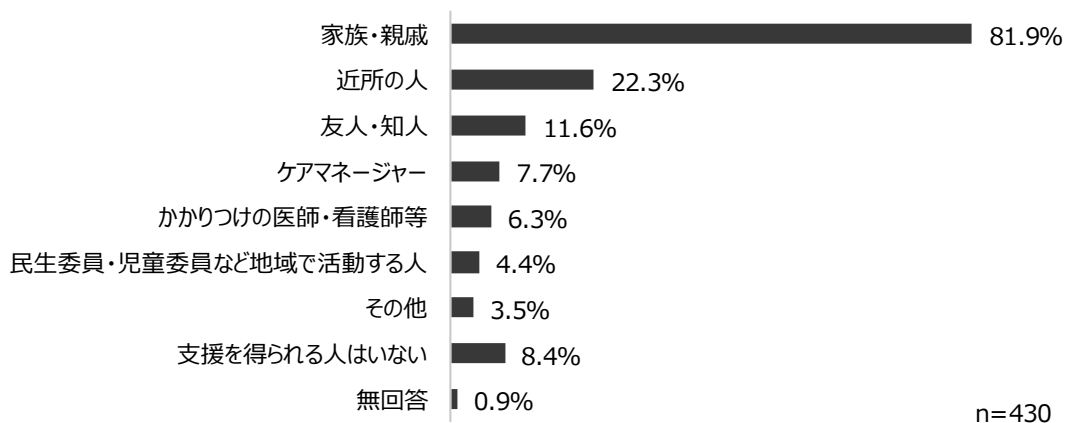
「いいえ」という回答が最も多く73.2%、次いで「はい（22.9%）」の順となっています。



問(45)において「1.はい」と回答された方のみに対する質問

(46) 避難する際にどなたから支援を得られる状況にありますか（3つまで）

「家族・親戚」という回答が最も多く81.9%、次いで、「近所の人（22.3%）」、「友人・知人（11.6%）」の順で回答が多くなっています。



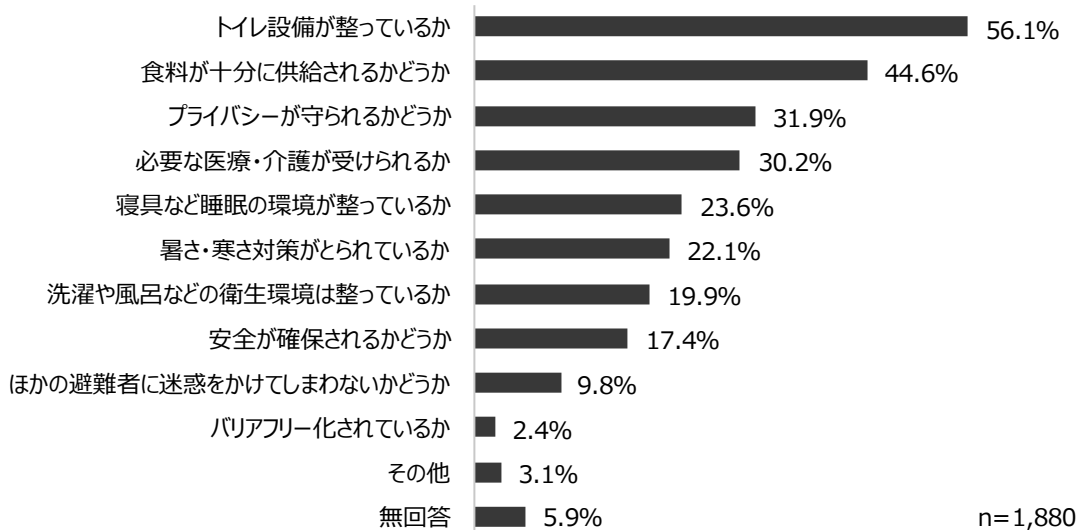
《地区別》

避難する際に支援を得られる相手について、地区別の傾向も全体と同様ですが、「友人・知人」と回答した人の割合は、栗源地区、山田地区で高く、佐原地区、小見川地区では低くなっています。「近所の人」と回答した人の割合は、山田地区、栗源地区で高く、佐原地区、小見川地区では低くなっています。「ケアマネージャー」と回答した人の割合は、他の地区と比べて栗源地区で高くなっています。「支援を得られる人はいない」と回答した人の割合は、他の地区と比べて佐原地区で高くなっています。

単位 (%)	全体 (人)	家族・親戚	友人・知人	近所の人	民生委員・地域・児童活動委員	ケアマネージャー	かかりつけの医師等	その他	支援を得られない人	無回答	
全体	430	81.9	11.6	22.3	4.4	7.7	6.3	3.5	8.4	0.9	
地区別	佐原地区	225	79.6	8.0	21.3	4.4	7.6	7.6	4.9	10.2	0.4
	小見川地区	128	81.3	14.1	21.9	4.7	6.3	3.9	1.6	7.8	1.6
	山田地区	60	91.7	18.3	26.7	5.0	8.3	8.3	1.7	3.3	0.0
	栗源地区	15	86.7	20.0	26.7	0.0	20.0	0.0	6.7	0.0	6.7

(47) ご自身やご家族の避難所での生活について、どのようなことに心配・不安を感じますか(3つまで)

「トイレ設備が整っているか」という回答が最も多く56.1%、次いで、「食料が十分に供給されるかどうか(44.6%)」、「プライバシーが守られるかどうか(31.9%)」、「必要な医療・介護が受けられるか(30.2%)」、「寝具など睡眠の環境が整っているか(23.6%)」、「暑さ・寒さ対策がとられているか(22.1%)」、「洗濯や風呂などの衛生環境は整っているか(19.9%)」、「安全が確保されるかどうか(17.4%)」の順で回答が多くなっています。「その他」として、「ペットを連れて行けるかどうか」という回答が最も多く挙がっています。そのほか、「選択肢すべて」、「自身または家族に障害があるため避難所に行くことが難しい」、「避難所が狭い」という回答が挙げられています。



《性別》

避難所での生活に対する心配・不安について、回答を男女別にみると、男性では、「食料が十分に供給されるかどうか」、「寝具など睡眠の環境が整っているか」などの割合が女性に比べて高くなっています。また、女性では、「トイレ設備が整っているか」、「プライバシーが守られるかどうか」、「安全が確保されるかどうか」などの回答の割合が男性に比べて高くなっています。

単位 (%)		全体 (人)	食料が十分に供給されるかどうか	トイレ設備が整っているか	寝具など睡眠の環境が整っているか	衛生環境は整っているか	洗濯や風呂などの必要医療・介護を受けられるか	プライバシーが守られるかどうか	暑さ・寒さ対策がとられているか
全体		1,880	44.6	56.1	23.6	19.9	30.2	31.9	22.1
性別	男性	813	49.8	51.2	26.6	20.4	30.3	27.2	23.1
	女性	1048	40.7	60.0	21.5	19.8	30.0	35.4	21.4

単位 (%)		バリアフリー化されているか	安全が確保されるかどうか	惑いのかどうか	ほかの避難者に迷わ	その他	無回答
全体		2.4	17.4	9.8	3.1	5.9	
性別	男性	2.2	14.1	10.3	3.0	6.3	
	女性	2.4	19.9	9.3	3.2	5.6	

問8 その他

(48) 最後に、地域福祉についてご意見・ご要望などがあればご自由にお書きください

高齢者の保健福祉、介護に関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 廃用症候群や転倒予防のための体操教室、レクリエーションの場など、高齢者が気軽に参加できる機会を設けてほしい。■ 高齢者は社会とのつながりがなくなり孤立しがちのため、安心して楽しく集い、活動できる場を設けてほしい。■ 通院や買い物など日常生活の支援として、介護タクシー券を配布してほしい。■ 緊急の介護入所施設があるとよい。■ バリアフリーのスーパーマーケットや病院が少ない。■ 今後はより介護予防事業に予算を配分してほしい。高齢者が元気づちに活動に参加できるようにし、健康寿命を延ばしていくこと、元気な高齢者を増やすことが大切。■ 高齢者の入所施設が少なく、入所待ちが発生している。行政が施設への補助金など支援し、施設が増えるようにしてほしい。■ 高齢者のオムツ購入補助について、支給されるものは使いづらく、本人の使いやすさを考慮したものを支給してほしい。または、市販品購入時に補助を受けられるようにしてほしい。■ 支援を必要としている人の中には孤立している人もいる。一人暮らし高齢者等については積極的な訪問活動が必要だと思う。
障害者の福祉に関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 障害のある人が働ける場所が増えるとよい。働ける場所が近くにあれば、障害者本人も生きがいを感じられ、家族も自分の時間ができて働くことができたり、リフレッシュする時間を持てたりして心の健康が得られると思う。■ 視覚障害者のためのバリアフリーを進めてほしい。公共施設や観光地でのビデオ上映に字幕をつけてほしい。■ 障害者の福祉について、子育て相談と同じように気軽に相談できる場所の整備や情報発信をお願いしたい。■ 障害者の福祉を充実させてほしい。■ 障害（グレーゾーンも含めて）について、周囲からの理解が乏しい。利用できるサービスもあまりなく、金銭面の負担も大きい。障害者が安心して生活できる場をもっと考えてほしい。
子どもの福祉、子育てに関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 子どもが遊べる大きな公園や、室内の遊び場を作してほしい。香取市内になく、市外に出なければならぬ状況。■ 香取市各地区に子ども食堂を設立してほしい。地域の方々の関わり、子ども同士親同士の交流を持つという観点から、子ども食堂があるとよい。■ 香取市は、子育てや介護をしながら生活するのがすごく難しい。保育所や学童の終了時間をもう少し遅くして、働きながら育てられる環境をつくってほしい。■ 時間外保育の補助等、市でしていただくことで保育士さんの対応の方法も変えていただけるのではないかな。■ オムツ代、3歳以下3人目の保育料、出産祝い金、給食費無料など、近隣地域と比べて香取市は子育て支援が少ない。子育て世代の経済的負担がもう少し減るとよい。■ 安心して子どもを産み育てられる香取市にしてほしい。■ 小学校区の児童の減少で学校教育がきちんと成立するのが不安。■ 子どもたちの老人ホームなどへの訪問、交流を授業の中に取り入れてはどうか。核家族世帯が多く、親以外の世代とのふれあいがなく、理解できないことがある。■ 地区では子どもの数が少なくなり「子ども会」が解散してしまった。複数の地区での「合同子ども会」を結成するなどして、地域の子どもやその親たちの交流ができるようにしてほしい。■ 子どもたちのスポーツ活動への支援（施設、資金等）を増やしてほしい。■ 少子化がどんどん進んでいる。近隣地域に引越す方も多く、香取市に住んでいたいと思わせる子育て支援やショッピングモールの誘致をぜひお願いしたい。

医療、健康づくりに関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 近隣に子どもが入院できる病院がなく、夜間救急もない。 ■ 子どもの医療に関して、日曜日に受診できる医療機関が少なすぎる。 ■ 市役所前に建設予定になっていた産婦人科を早く建ててほしい。 ■ 耳鼻科が一カ所しかなく混んでいるため、耳鼻科を開業してほしい。 ■ 発熱外来の病院を増やしてほしい。 ■ 同じ医療費であっても、大都市と地方では全く違う。地方の人たちも大都市の人たちと同じ恩恵を受けたい。 ■ 医療の充実を一番にお願いしたい。この病院があるから香取市在住はまず安心、となると、住み心地がぐっと良くなる。
地域福祉全般に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域福祉の現状とその課題、それに対する取り組みについて、小学校高学年あたりから教育してほしい。自分たちが住む地域を真剣に考える良い機会になると思う。 ■ 空き家が増えて人の気配が少ないのが怖い。 ■ 働く場所がなく、若い人の流出につながっている。 ■ うつ病、引きこもり等の支援。 ■ 移動手段がないため高齢になっても免許返納せず買い物や通院のため車を使っている人が多い。移動スーパー等の支援があると助かる人が多いと思う。
災害対策に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 台風のと看、どこの避難所も満員でケーヨーや諏訪山に逃げた。十分な避難所の確保をお願いしたい。 ■ 災害時に避難する場合、避難所まで行く手段がない。避難先の環境や待遇も必要なことだが、まず安全に避難場所に到着することが必要と考える。 ■ 町内会に入っていないため、地域の情報収集ができていない。災害時の避難先も分からない。 ■ 災害が起こった時の避難が特に心配。近所の方たちも高齢化しており、助け合うにも限界を感じる。消防署の職員の方たちが支援に回ってきていただけるとありがたい。 ■ 避難場所まで移動できない場合、タクシー会社などに委託して地域を回って送っていただきたい。 ■ 避難場所ではトイレが離れていると歩けずに困る。携帯トイレなどを使う場合、プライバシーを守るため困いをしてもらいたい。 ■ 最近ではペットを飼っている家庭がほとんどだと思ふ。災害時にペットを同伴できる避難場所を増やすべきだと思う。同伴できない場合には、ペットを連れて車で避難する家族も増えている。駐車できる場所を作るのも必要だと思う。 ■ 民生委員、自治会、消防団や自警団の災害時の各自の役割や連携について横断的な整備をしてほしい。 ■ 防災公園のような、災害時にも役立ち、日常でも子供が遊んだり地域の方が交流できる広い芝生などのスペースがほしい。
交通の利便性に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 交通の便が悪く、高齢になっても車を運転せざるを得ない地域が多い。コミュニティバスの土日運行、便数を増やすなどしてほしい。 ■ 高齢者の病院の送迎があるとよい。 ■ みずほ台から下総神崎までの交通手段（バス）がない。 ■ 下総神崎駅など、車椅子ユーザーのためのエレベーターがない。 ■ 免許返納後に、通院や買い物などのための交通手段があるか心配。 ■ 地域の高齢化が進む中、買い物、通院等で利用できる公共交通機関の充実（費用補助含む）が必須。スクールバスの生徒、高齢者の相互利用を可能にしてはどうか。
安全・再犯防止に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 通学路の安全化を強く求めます。 ■ 子どもが安全に登下校できるように、通学路の整備を進めてほしい。 ■ パトロールをお願いしたい。 ■ 夜の街が暗すぎる。事故や犯罪が起きないか心配。防犯対策として街灯を増やしてほしい。 ■ 駅前でも街灯の数が少ない。ブルーの街灯は暗くて人がいるのかも分かりづらく危ないと感じる。白色灯に変えていただきたい。

- 道の舗装がきちんと整備されておらず、段差やガタツキがある道が多い。何年も直されていないので危ない箇所が増えていると感じる。
- 犯罪抑止、交通マナー向上のために、防犯カメラの設置を希望します。

外国人支援に関すること

- 外国人にとって地域福祉にどんな内容があるか具体的に分からないため、よく分かるようお知らせいただければ良いと思います。

本アンケート調査に関すること

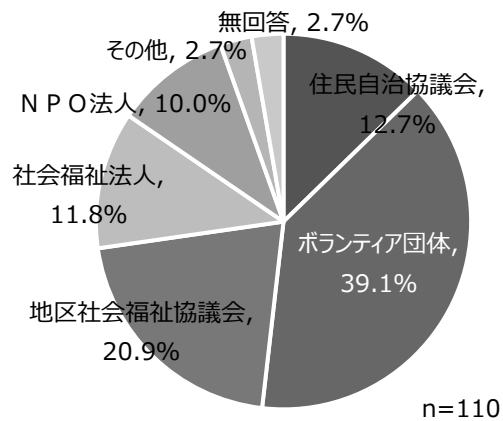
- アンケートのフォントが「UD フォント」でとても見やすかった。どんどん使ってほしい。
- 質問の順番が分かりづらい。1～2 はタテにしてほしい。
- 本人が高齢のためアンケートが来ても答えられない。もう少し回答者を選んでほしい。
- 設問が多すぎる。非常に疲れた。
- 質問 41 について、選択肢に「特になし」がないのはおかしいと思う。
- QR コードを読み込んだ後、4 桁の数字を入力してもエラーとなってしまった。それにより回答できない人もいると思うので、アンケート環境を整えないともったいない。
- 無作為抽出アンケートとなっているが、インターネット回答番号で個人が特定できてしまう。提出に少々不安を感じる。
- アンケートを通じて、深く考えていなかったこと、地域福祉の範囲など、知らなかったことも自覚できた。

調査2 関係団体アンケート調査

問 1 貴団体のことについて

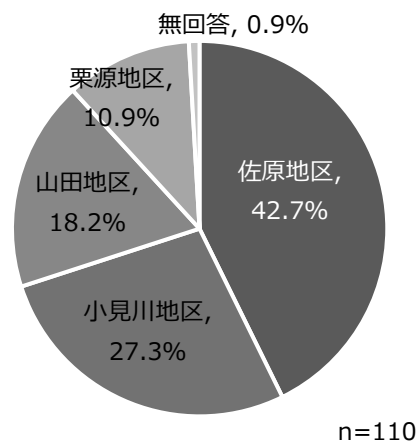
- (1) 貴団体の名称をご記入ください
- (2) 貴団体の種別を教えてください(単一回答)

「ボランティア団体」という回答が最も多く 39.1%、次いで、「地区社会福祉協議会（20.9%）」、「住民自治協議会（12.7%）」、「社会福祉法人（11.8%）」、「NPO 法人（10.0%）」の順となっています。



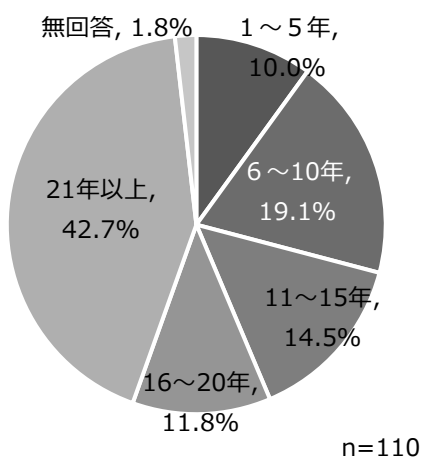
- (3) 貴団体がある地区を教えてください(単一回答)

「佐原地区」という回答が最も多く 42.7%、次いで、「小見川地区（27.3%）」、「山田地区（18.2%）」、「栗源地区（10.9%）」の順となっています。



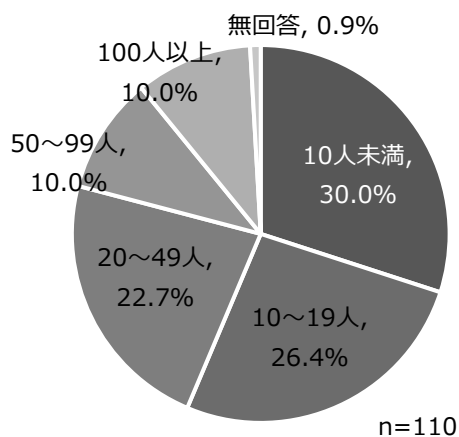
(4) 貴団体の活動年数を教えてください(単一回答)

「21年以上」という回答が最も多く42.7%、次いで、「6～10年（19.1%）」、「11～15年（14.5%）」、「16～20年（11.8%）」、「1～5年（10.0%）」の順となっています。



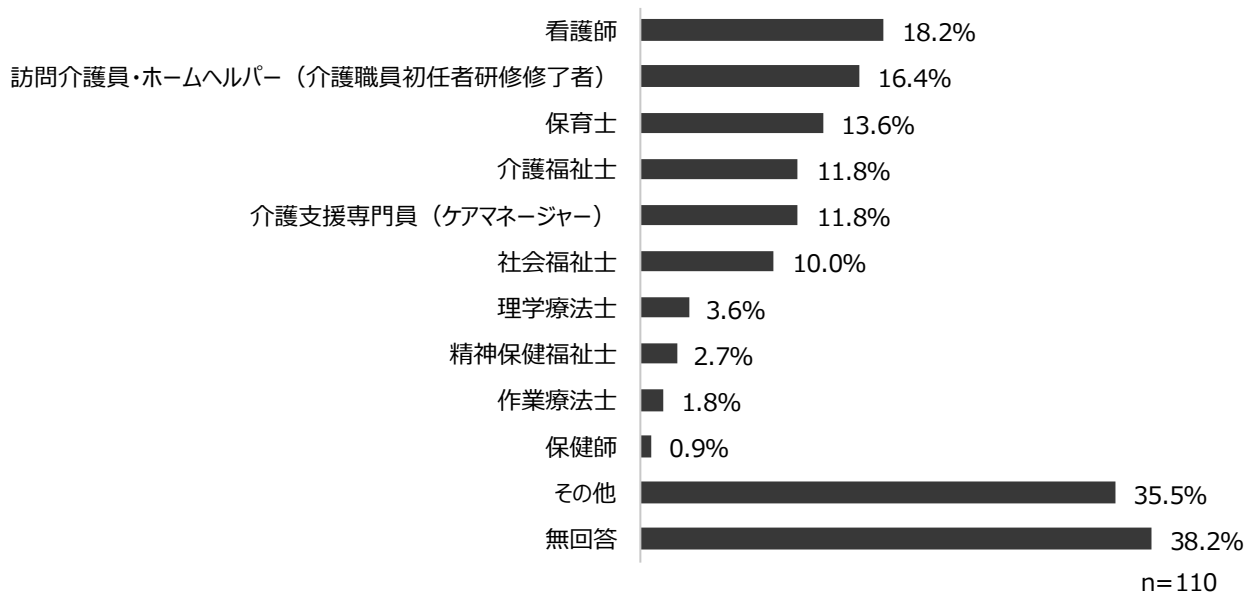
(5) 貴団体の活動人数（名簿登録者数）を教えてください(単一回答)

「10人未満」という回答が最も多く30.0%、次いで、「10～19人（26.4%）」、「20～49人（22.7%）」、「50～99人（10.0%）」、「100人以上（10.0%）」の順となっています。



(6) 貴団体には次のような専門職の方が所属していますか(複数回答)

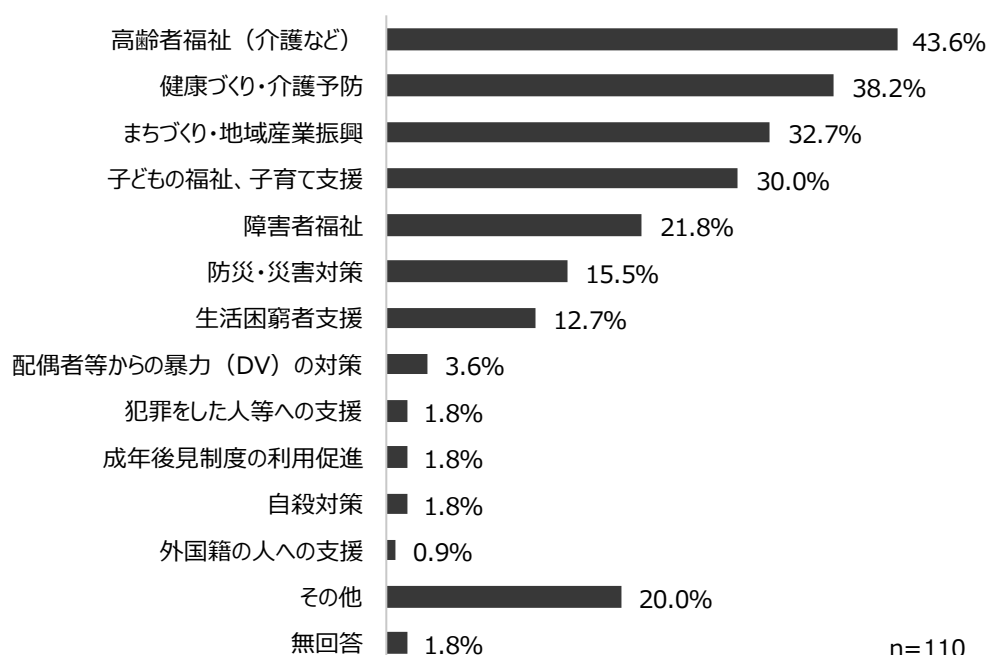
「看護師」という回答が最も多く18.2%、次いで、「訪問介護員・ホームヘルパー（介護職員初任者研修修了者）（16.4%）」、「保育士（13.6%）」、「介護福祉士（11.8%）」、「介護支援専門員（ケアマネージャー）（11.8%）」、「社会福祉士（10.0%）」の順で回答が多くなっています。「その他」の回答としては、「専門職の所属はなし」、「民生委員」、「教員」、「栄養士」などが挙げられています。



問 2 貴団体の活動について

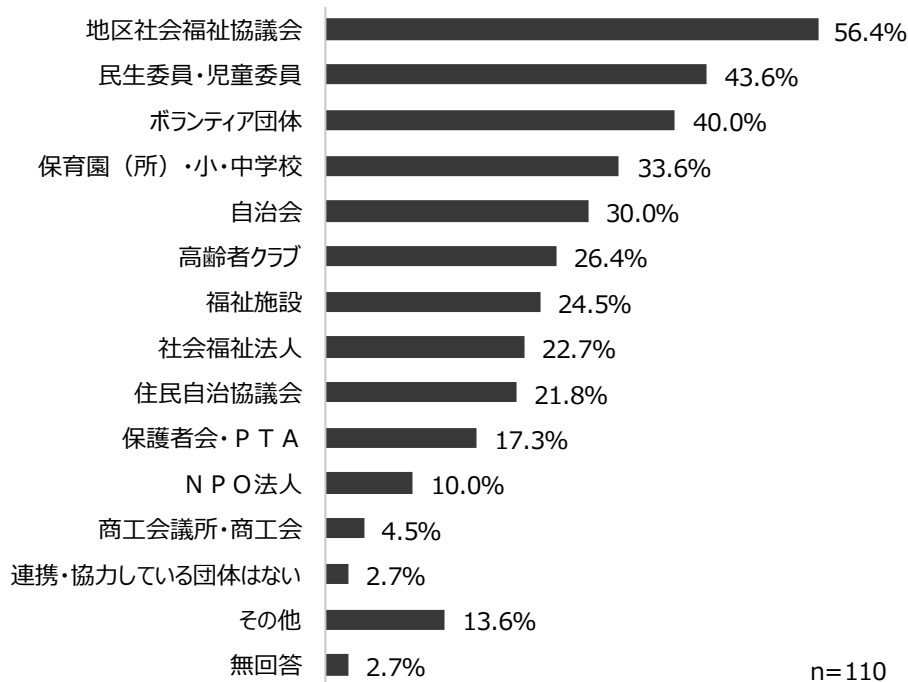
(7) 貴団体では現在どのような分野の活動に取り組んでいますか(複数回答)

「高齢者福祉（介護など）」という回答が最も多く43.6%、次いで、「健康づくり・介護予防（38.2%）」、「まちづくり・地域産業振興（32.7%）」、「子どもの福祉、子育て支援（30.0%）」、「障害者福祉（21.8%）」、「防災・災害対策（15.5%）」、「生活困窮者支援（12.7%）」の順で回答が多くなっています。「その他」の回答としては、「高齢者世帯等への配食サービス」が最も多く挙げられ、そのほか「環境美化」、「イベント開催による地域交流」、「見守り」などが挙げられています。



(8) 貴団体では、次のような団体・機関と連携・協力体制がありますか(複数回答)

「地区社会福祉協議会」という回答が最も多く 56.4%、次いで、「民生委員・児童委員 (43.6%)」、「ボランティア団体 (40.0%)」、「保育園 (所)・小・中学校 (33.6%)」、「自治会 (30.0%)」、「高齢者クラブ (26.4%)」、「福祉施設 (24.5%)」、「社会福祉法人 (22.7%)」、「住民自治協議会 (21.8%)」、「保護者会・PTA (17.3%)」、「NPO 法人 (10.0%)」の順で回答が多くなっています。「その他」の回答としては、「医療機関」、「子育て世代包括支援センター」、「保護司会、更生保護女性会」、「香取 CCC」、「香取市ろうあ協会」などが挙げられています。



(9) 他の団体と連携・協働していく上で、どのような困難・難しさがありますか

情報共有、コミュニケーションに関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 情報の共有。 ■ 先方に活動を十分伝えきれず理解、協力いただくのが難しい。 ■ 区長等の任期が短く、コミュニケーションが取りづらい。 ■ 団体の代表者や担当者の交代など、運営体制が変わると、継続してきた関係が保てなくなるケースがある。 ■ 地区ごと、団体ごとにそれぞれ特性があり、それを理解し、行事を進めることが難しい。 ■ 個人情報保護の関係から住民の情報を共有できないため、連携が難しい。 ■ 誰がどのような活動をしているのか不明で、代表者の連絡先が分からない。 ■ 意見の相違がある。 ■ 各団体との役員連絡協議会が行われていないため、面識がなく各団体との連携が難しい。 ■ 相手側がどんな団体か、どんな活動をしているのかが分からない。
日程や会場の調整に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域のサークル活動や団体と会場が重複することがあり、調整が必要なこと。 ■ 同じようなイベントを開催していること。

<ul style="list-style-type: none"> ■ 事業実施に向けての計画立案の際の日程調整。 ■ 事業や会議等の開催における日程調整。
活動の場、機会に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 団体間の交流の場がない。 ■ とともに話し合える場が乏しい。 ■ ボランティア団体同士が集まる機会が少なく、情報交換が乏しい。 ■ 特にコロナ禍において活動場所の確保が難しい。
人材に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 年齢の高齢化、若い方々の協力がいないこと。 ■ メンバーが高齢化しているため、参加できない行事がある。 ■ ボランティアや役員が重複している。 ■ 連携を図ろうとしたが動きがにぶい。教育・研修が必要。
新型コロナウイルスによる制約
<ul style="list-style-type: none"> ■ 新型コロナウイルス感染症の対応のため、行事等が開催できない。また、連携についても今までのように取り組むことが難しい。 ■ 新型コロナウイルス感染症のため、地域の方々との交流が困難になり、情報も入りにくい状況になっている。 ■ 感染対策をとりながら事業を進めるのが困難であった中、地域内外の他事業所との連携まで進めることはできなかった。 ■ 新型コロナウイルス対応のため活動を自粛しており、そのため全体的にコミュニケーション不足になっている。関係が希薄になった。
その他
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「障害福祉」に対する理解。障害分野に対して、関わり方が分からないため不安や抵抗を感じている事業所があると聞いている。 ■ 何か問題や伝えたいことがあった場合、すべての関係団体に連絡しなければならないこと。 ■ 情報を集めて全体に伝えてくれる窓口のようなものがない。 ■ 誰が主導して関係団体をコーディネートしていくかが課題。福祉事業に関わる人や地域自治の役員を引き受けている人はすでに多忙な状況。 ■ 会議の進行または発言時において、こちら側が手話通訳の表現を見ながら対応することを考慮して、ゆっくり進行してほしい。

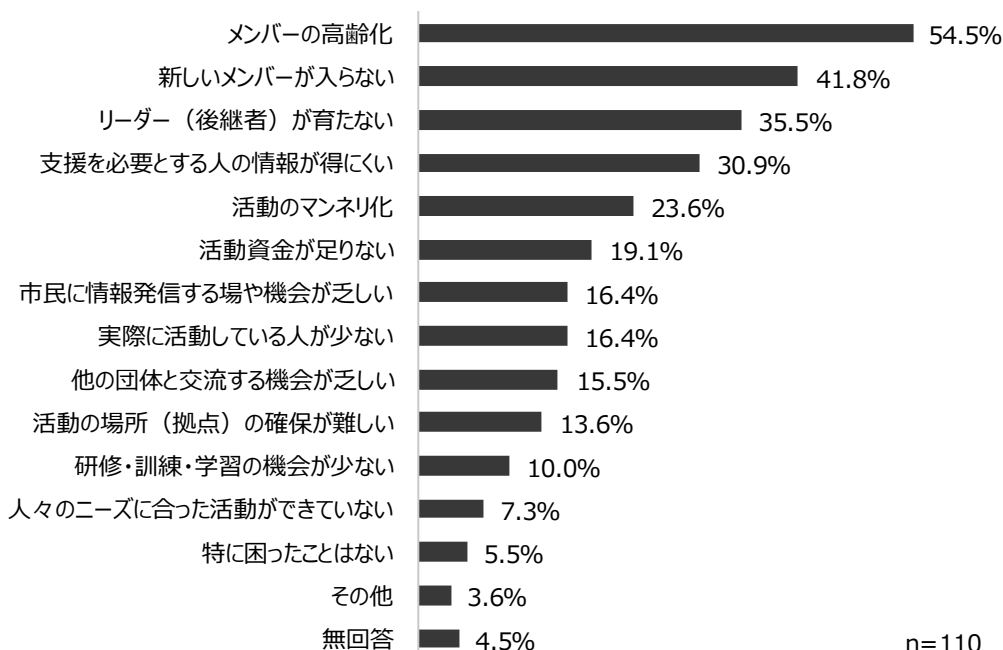
(10) 他の団体との連携・協働を進めるために、香取市に求めることはありますか

活動の場、機会に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 団体間の交流の場、懇談会等の機会を作ってほしい。 ■ 同じような活動をしている団体との交流、情報交換の場を作ってほしい。 ■ 他の団体との連携のため、異業種交流会のようなものがあるとよい。 ■ まちづくり協議会、自治会、自主防災会等と情報交換する機会（場）を定期的に設けてほしい。 ■ 閉校した学校を活用できるようにしてほしい。
情報提供に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 個人情報の保護は必要だと思うが、地区の高齢者の名簿を民生委員の方だけにでも渡しておいてほしい。 ■ 70歳以上の方を対象に福祉事業を行っているが、市に依頼しても対象者の名簿を提供してもらうことが難しい。支援対象者の把握が困難な状況。 ■ 協働に必要な情報共有。なんでも「個人情報」として非公開にされる中で協働は難しい。
人材育成に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 活動を円滑に推進する人材の育成や人材の発掘。 ■ 組織が異なるとお互いの知識・レベルの違いがありすぎて連携が難しい。人材育成のため研修会を開催してほしい。 ■ 手話通訳者の育成、制度の充実。

連絡調整に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 地区ごとの交流を市職員が橋渡ししてくれるとありがたい。 ■ 各団体との役員連絡会議を年に3～4回開催してもらいたい。
広報に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 市からのお知らせは広く周知できるような仕組みが必要。 ■ 認知症カフェや家族の会があることを広報誌等で宣伝してほしい。
活動資金に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 必要とされる活動を行っている団体に対しては、少額でもよいので資金援助をしてほしい。 ■ 職員確保に向けた補助金などがあるとありがたい。
その他
<ul style="list-style-type: none"> ■ 同じような活動をしている組織の見直し。 ■ 地域の課題を見える化して、その解決に向けては地域の資源に任せてほしい。 ■ 障害のある方の地域生活の受入体制づくり、障害についての正しい理解、身近な地域の中での相談場所の確保、障害があってもなくても年齢や本人のニーズに見合った柔軟な支援やサービスが受けられるためのネットワーク形成が必要。 ■ 災害発生時の連携・協働について、高齢者の入所施設では、特に要介護者・要支援者などの避難者が多数になった場合、対応が困難となるため支援をお願いしたい。 ■ 新型コロナウイルス感染症対策に一定の区切りをつけてほしい（例えば、手指消毒、マスク着用、換気などの方法で一定の基準を満たせば施設の面会や見学を可能とするような宣言、ガイドラインの発表など）。

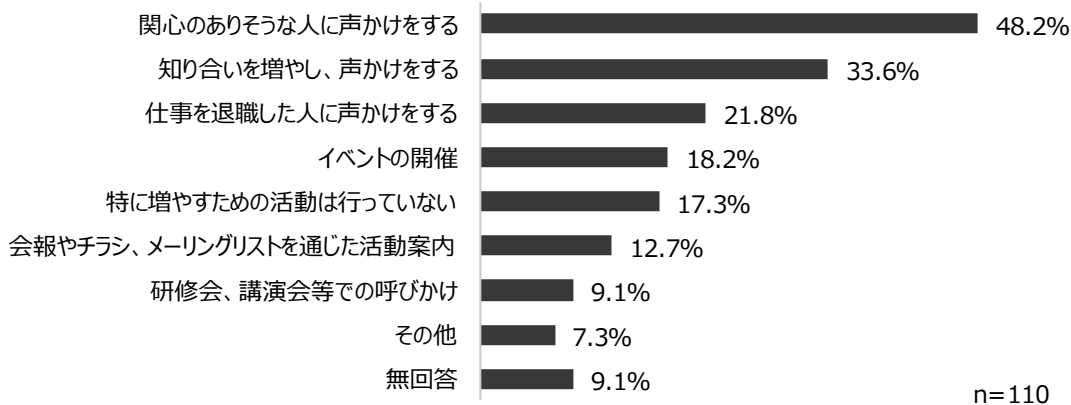
(11) 貴団体等が活動を行う上で困っていることはどのようなことですか(複数回答)

「メンバーの高齢化」という回答が最も多く54.5%、次いで、「新しいメンバーが入らない(41.8%)」、「リーダー(後継者)が育たない(35.5%)」、「支援を必要とする人の情報が得にくい(30.9%)」、「活動のマンネリ化(23.6%)」、「活動資金が足りない(19.1%)」、「市民に情報発信する場や機会が乏しい(16.4%)」、「実際に活動している人が少ない(16.4%)」、「他の団体と交流する機会が乏しい(15.5%)」、「活動の場所(拠点)の確保が難しい(13.6%)」、「研修・訓練・学習の機会が少ない(10.0%)」の順で回答が多くなっています。



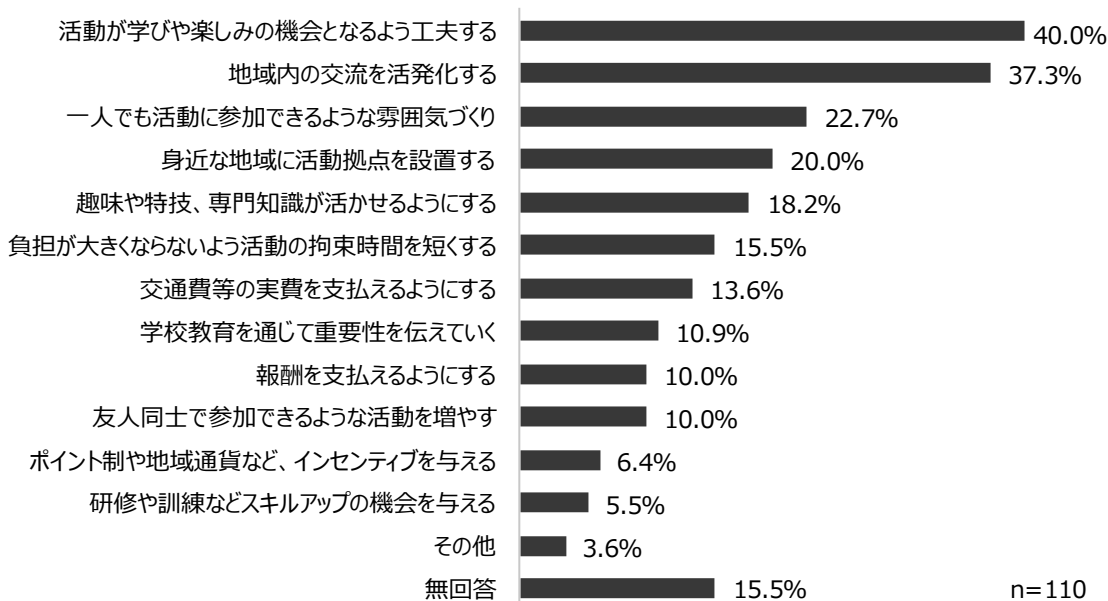
(12) 活動の新たな担い手を増やすために、貴団体ではどのようなことに取り組んでいますか(複数回答)

「関心のありそうな人に声かけをする」という回答が最も多く48.2%、次いで、「知り合いを増やし、声かけをする(33.6%)」、「仕事を退職した人に声かけをする(21.8%)」、「イベントの開催(18.2%)」、「特に増やすための活動は行っていない(17.3%)」、「会報やチラシ、メーリングリストを通じた活動案内(12.7%)」の順で回答が多くなっています。「その他」の回答としては、「実習生の受入れ」、「ポスターの掲示」、「学園を通じた卒業生の勧誘」などが挙げられています。



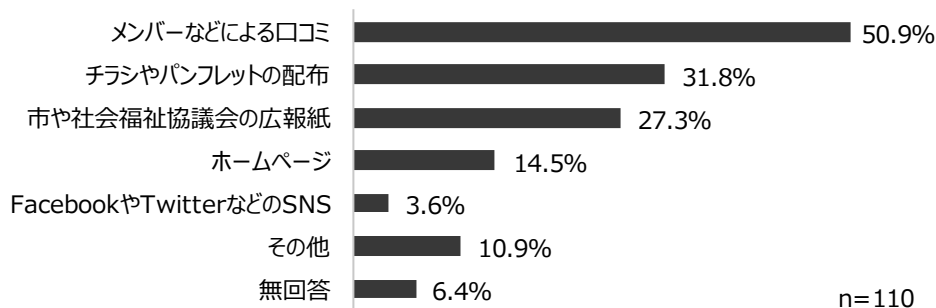
(13) 市民が自ら地域の課題を解決するための主体性・自主性を養うために、どのようなことが必要だと思いますか(3つまで)

「活動が学びや楽しみの機会となるよう工夫する」という回答が最も多く40.0%、次いで、「地域内の交流を活発化する(37.3%)」、「一人でも活動に参加できるような雰囲気づくり(22.7%)」、「身近な地域に活動拠点を設置する(20.0%)」、「趣味や特技、専門知識が活かせるようにする(18.2%)」、「負担が大きくなるよう活動の拘束時間を短くする(15.5%)」、「交通費等の実費を支払えるようにする(13.6%)」、「学校教育を通じて重要性を伝えていく(10.9%)」、「報酬を支払えるようにする(10.0%)」、「友人同士で参加できるような活動を増やす(10.0%)」の順で回答が多くなっています。



(14) 貴団体では、団体の活動情報をどのように発信していますか(複数回答)

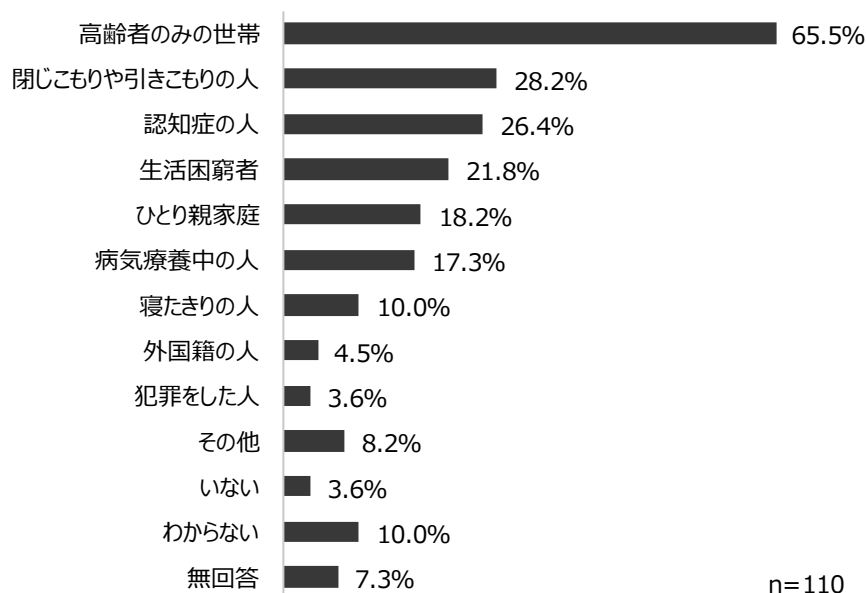
「メンバーなどによる口コミ」という回答が最も多く50.9%、次いで、「チラシやパンフレットの配布（31.8%）」、「市や社会福祉協議会の広報誌（27.3%）」、「ホームページ（14.5%）」の順で回答が多くなっています。「その他」の回答としては、「団体の広報誌の発行」が多く挙げられています。



問3 活動を通して見える地域の状況について

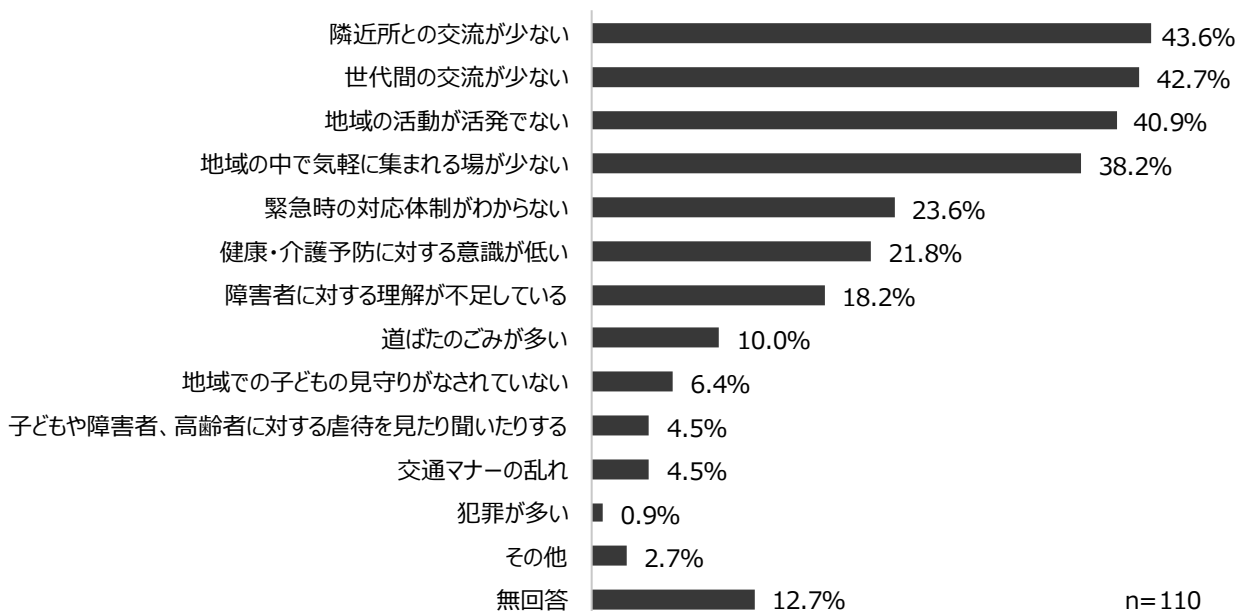
(15) 活動する中で、地域の中に次のような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人（何らかの課題を抱えている人）がいますか(複数回答)

「高齢者のみの世帯」という回答が最も多く65.5%、次いで、「閉じこもりや引きこもりの人（28.2%）」、「認知症の人（26.4%）」、「生活困窮者（21.8%）」、「ひとり親家庭（18.2%）」、「病気療養中の人（17.3%）」、「寝たきりの人（10.0%）」の順で回答が多くなっています。



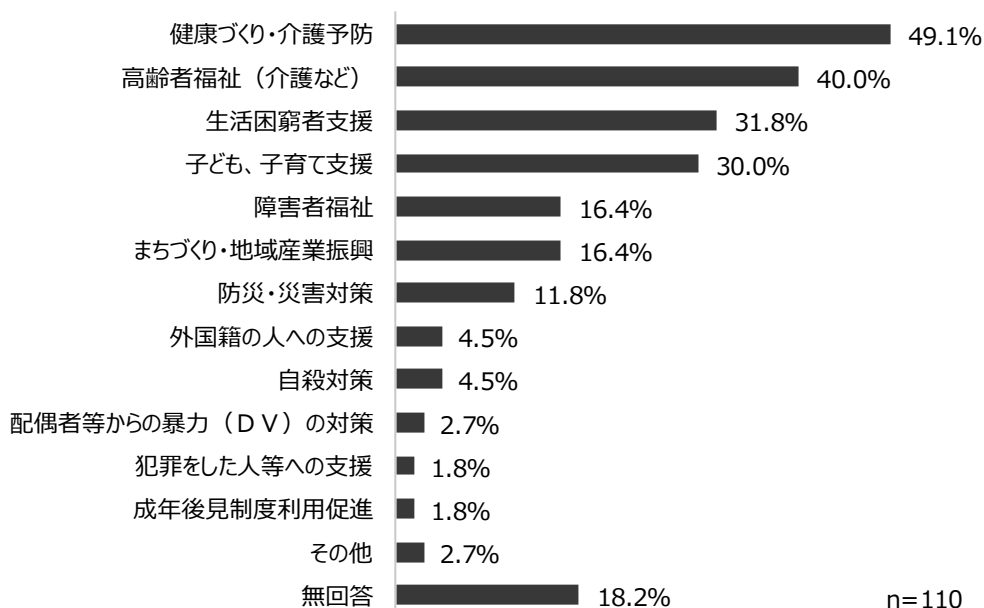
(16) 普段活動されている中で、地域の中での問題点・不足していると思うものはなんですか。(複数回答)

「隣近所との交流が少ない」という回答が最も多く43.6%、次いで、「世代間の交流が少ない(42.7%)」、「地域の活動が活発でない(40.9%)」、「地域の中で気軽に集まれる場が少ない(38.2%)」、「緊急時の対応体制がわからない(23.6%)」、「健康・介護予防に対する意識が低い(21.8%)」、「障害者に対する理解が不足している(18.2%)」、「道端のごみが多い(10.0%)」の順で回答が多くなっています。



(17) 新型コロナウイルスの流行によって、どのような分野のニーズが増えたと感じますか(複数回答)

「健康づくり・介護予防」という回答が最も多く49.1%、次いで、「高齢者福祉(介護など)(40.0%)」、「生活困窮者支援(31.8%)」、「子ども、子育て支援(30.0%)」、「障害者福祉(16.4%)」、「まちづくり・地域産業振興(16.4%)」、「防災・災害対策(11.8%)」の順で回答が多くなっています。



(18) 新型コロナウイルスの流行によって、活動を行う上でどのような問題や制約がありましたか

活動自体の自粛・中止
<ul style="list-style-type: none">■ 地域行事、イベントなどの活動自粛、中止。■ 自主的活動ができない。■ 施設ボランティアが中断された。■ 研修の機会が減った。■ 介護保険サービスにおいて、利用控え、外出訓練・屋内行事の制限があった。■ 地区の祭りが3年間で中止になったことにより、祭礼を通して年齢を超えた交流や、地区内の人同士の交流が減った。■ 活動が制限され、一同に集まって会議等ができず、文章のみの一方的な情報提供となった。■ 2～3年活動を自粛していると、住民自治協議会の意識が薄れてしまう。■ 外出や行事が制限され、利用者のストレス発散ができなくなっている。
活動場所の制限
<ul style="list-style-type: none">■ 練習場所の確保が難しかった。活動の場所が少なくなった（制限された）。■ これまで借りていた会場が借りられなくなり、活動できる場所がなくなった。
活動内容の制限
<ul style="list-style-type: none">■ 外出（車での移動）ができなくなり、活動の範囲が狭くなった。■ 高齢者宅の訪問は短時間になっている。■ 会話の少ない最低限の見守りになってしまった。■ 給食サービスは手作りのものを中止した。
作業・労力負担の増加
<ul style="list-style-type: none">■ 電車など公共交通機関を使う代わりに、マイカーで行くことになり大変であった。■ 必要な感染対策はしていたが、過剰な感染対策を求められ、業務と同時進行で行う職員が疲弊した。■ 高齢者は耳の遠い方もおり、大声での会話になってしまうこと。■ 感染予防対策の業務が増え、また、活動内容も大きく変わったため職員の負担が増えているが、職員の人数を増やすことは困難な状況にある。■ 職員および利用者に係る感染予防対策の身体的、精神的負担が増加した。■ 感染者、濃厚接触者が発生した際、アナウンスや定期的なPCR検査など、普段の活動にはない作業や行動が必要になった。また、そのために人件費が増加したこと、利用者数の制限から報酬が減少し、経営的にも大きな負担を強いられた。■ 一つ一つの物の消毒、受入者の消毒、換気、検温など作業が煩雑になり、費用もかかる。■ クラスタ状態になっても園児の受入れをしなければならず、職員の確保（体制）が困難であった。
収入の減少
<ul style="list-style-type: none">■ 様々な制限・制約のために事業所のサービス利用が抑えられ、事業収入が減少した。■ 人形劇公演は、練習や制作はできたが、公演依頼数が極端に減少してしまった。■ 地産地消の材料を用いて自前で調理していた配食サービスを外注することになったため、単価が上がり、運営に苦労している。
その他
<ul style="list-style-type: none">■ マスクを着用した状態での聴覚障害者とのコミュニケーションに困難がある（口話・口形、表情など、手話において必要な部分に弊害が出る）。■ 通所、ショートステイが営業休止している間も在宅での生活が続いているため、相談支援が間に入り営業再開までの代替調整等を行ってきたが、それは間接的支援の扱いとされ、行政の処遇改善には該当しないことになったこと。

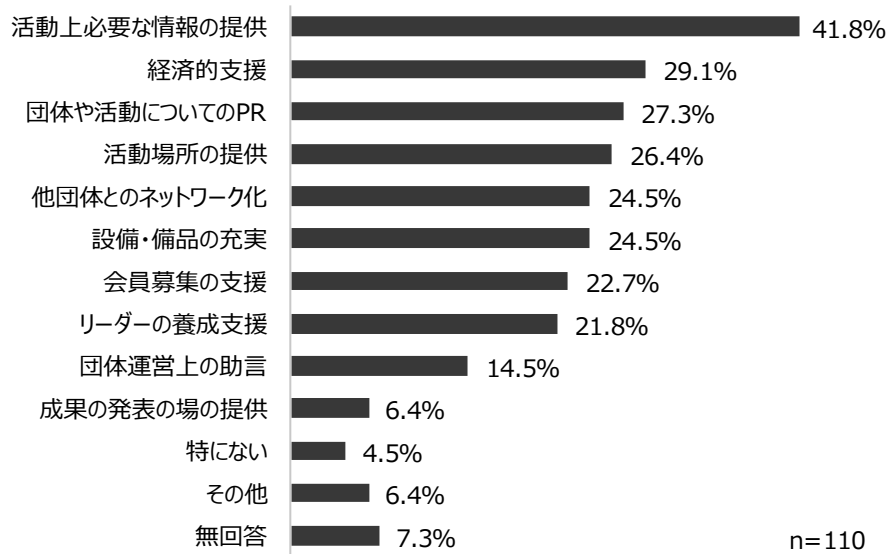
(19) コロナ禍で貴団体が活動を続けていく上で、香取市にどのような支援を求めますか

活動場所に関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 公民館、コミュニティセンター等、地域の人たちがすぐに使える場所の確保、提供。■ 練習場所として、倉庫と練習が同じ場所で駐車場がある所を望んでいる。閉校した学校の活用を強く望んでいる。■ 地区の施設を利用する際、どのような条件があるのか各地区に周知してほしい。■ 地区に活動できる場がほしい。小さい集会所はあるが、大倉地区全体として活動できる場がないので困っている。
情報提供に関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 香取市におけるコロナの感染の正確な情報（場所、人数等）が少ない。どこで何が起きているのか分からない。■ オミクロン株はエアロゾルが関係しているため、換気の重要性を強調していただきたい。■ コロナ禍で情報が少ない。活動に対するアドバイスが少ない。■ 各団体別ではなく情報の共有化をしてほしい。
物品の貸出・提供に関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 中型車の貸し出し、または使用。■ 感染対策にかかる物品（マスク、石鹸、消毒液、パーテーション等）の購入支援。■ 家庭内で健康増進の手助けとなる物品や資料の配布。■ 全公共施設における Wi-fi の設置。
資金面の支援に関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 職員確保に向けた補助金などがあればありがたい。■ 現状の財政支援の継続をお願いしたい。■ 自前で空気清浄機を購入したが、補助金（助成金）があるとよいと思った。■ 事業収入が大幅に減少し、事業の継続が困難。事業への公費負担の増額を求める。■ 練習にかかる部屋の利用料金を援助してほしい。
関係機関の連携に関すること
<ul style="list-style-type: none">■ 各団体との連携や協力体制づくりに向けての働きかけ、会議の開催。■ 行政の横のつながり、連携を図ってほしい（市役所、教育委員会、保健所、地域包括支援センターなど）。■ 医療、福祉、介護関係の専門職の方にも定期的に顔の見える関係が築けるようサポートしていただけると、住民の安心につながると思う。■ コロナ対策も含めて災害対策にかかる相談支援業務に関し、官民共同で動いていけるような仕組みが必要だと思う。
その他
<ul style="list-style-type: none">■ 知的障害者や精神障害者がコロナに罹患した際の入院先を優先的に提供してほしい。■ 患者さんをすぐに受け入れてくれる病院がない。■ 一定基準の感染対策下での制限緩和の号令またはガイドラインを発表してほしい。■ どのような形で活動していくことが可能なのか、具体的に教えてほしい。■ 活動方法についてはそれぞれの団体に対応を任せるという形だったが、感染対策や通いの場での注意事項等について運営スタッフへの研修や交流会があったらよいと思った。■ 香取市職員の協力、ボランティアとしての活動。■ まずはどのような活動をしているか実際に見てほしい。その上で、香取市にどのような支援ができるのか検討していただきたい。

問4 今後の活動について

(20) 貴団体が活動をしていく上で市に望むことはどのようなことですか(複数回答)

「活動上必要な情報の提供」という回答が最も多く41.8%、次いで、「経済的支援（29.1%）」、「団体や活動についてのPR（27.3%）」、「活動場所の提供（26.4%）」、「他団体とのネットワーク化（24.5%）」、「設備・備品の充実（24.5%）」、「会員募集の支援（22.7%）」、「リーダーの養成支援（21.8%）」、「団体運営上の助言（14.5%）」の順で回答が多くなっています。



(21) 今後、貴団体として行政との協働でどのようなことに取り組めるとお考えですか

イベント・行事の開催に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ お祭りやイベントへの協力。 ■ 社会福祉協議会の行事には積極的に協力していきたい。
人材育成に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 介護予防、介護方法等の勉強会。 ■ 介護人材の創出。 ■ 人材育成の場として、高齢者の方々が生涯大学校で学び、卒業後に地域活動の担い手としてリーダーシップを発揮してくれるようなシステムづくりを希望する。
高齢者の福祉に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 高齢者の健康や生きがいづくりなど、高齢者に対する支援活動。 ■ 独居高齢者の見守り。 ■ 介護保険制度を利用していない独居の高齢者宅への安否確認など、訪問活動をするための人材の派遣。 ■ 通院や買い物などの外出支援に関する環境の提供（付添人、車など）。
障害者の福祉に関すること
<ul style="list-style-type: none"> ■ 障害者に対するイベントの参加への協力。 ■ 聴覚障害者が不自由なく社会参加するための制度の推進。

<p>子ども・子育て支援に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 子どもの見守り、絵本の読み聞かせなど、子育て支援にかかる活動。 ■ 要支援、見守りが必要とされている子どもが増え、保育園に求められる事柄が増える中、うまく子育て支援がまわっていけるよう行政の支援を希望する。 ■ 子育て支援として、生涯学習課から講演依頼を受けている。今後も学校教育課、子育て支援課等々と連携していきたい。 ■ 少子化対策、子育て支援、障害がある親へのペアレントトレーニング。 ■ 通所介護事業所としての営業終了後に子ども食堂としての利用、見守りが必要なひとり親世帯の子どもの放課後クラブとしての場所の活用。 ■ 子ども食堂の開設の支援。
<p>災害対策に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 災害発生時の受入れ対応。 ■ 災害時の高齢者への支援。 ■ 災害時に要支援者の円滑な避難誘導や安否確認ができるよう、情報共有を図ってきたい。
<p>地域福祉全般に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 地域ニーズに合わせた福祉施策の検討の場があれば、協議に参画させていただき具体的な検討ができる。 ■ 地域交流センター事業についてはニーズの高さを感じている。このような事業を行政がバックアップしてくれるとありがたい。 ■ 絵本や紙芝居等を用いて、防犯や健康づくりの啓発活動などお手伝いできたらよいと考えている。特に子どもへの性犯罪の防止は重要と考える。
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市の考えに沿って、協力の要望があれば取り組むこととしている。 ■ まちづくり協議会への加入に伴い、活動範囲を広げていきたい。 ■ 現状の協力体制を維持しながら、他地域の工夫やアイデアの情報提供を受けられたらよい。 ■ イベント等への看護師の派遣。 ■ 公園、広場等の環境美化。 ■ 伝承文化の維持。 ■ 活動場所の確保。ボランティア団体には無償で提供できるようにしてもらいたい。 ■ 団体の方々も仕事と両立で活動している方が多い。行政も地域と一緒に活動してほしい。

「第3次香取市地域福祉計画」
策定に向けたアンケート調査報告書

発行：香取市

発行年月：令和5年（2023年）3月

編集：香取市 福祉健康部 社会福祉課

〒287-8501 千葉県香取市佐原口2127番地

電話：0478-50-1209